

---

平成30年 第1回(定例)西米良村議会会議録(第4日)

平成30年3月5日(月曜日)

---

議事日程(第1号)

平成30年3月5日 午前9時00分開会

日程第1 一般質問

日程第2 議案第20号 平成30年度西米良村一般会計予算

---

出席議員(8名)

1番 中武 智和君	2番 白石 幸喜君
3番 上米良 玲君	4番 濱砂 勝義君
5番 上米良秀俊君	6番 中武 勝文君
7番 濱砂 恒光君	8番 濱砂 征夫君

---

欠席議員(なし)

---

欠 員(なし)

---

事務局出席職員職氏名

事務局長 濱砂 雅彦君	書記 那須有美恵君
-------------	-----------

---

説明のため出席した者の職氏名

村長-----黒木 定藏君	副村長 -----黒木 義光君
教育長-----古川 信夫君	総務課長 -----黒木 敏浩君
むら創生課長-----牧 幸洋君	会計管理者-----土持 光浩君

福祉健康課長-----梅本 昌成君      村民課長 ----- 田爪 健二君  
建設課長-----上米良重光君      農林振興課長----- 濱砂 和廣君  
教育総務課長----- 濱砂 亨君      診療所事務長----- 渡邊 智紀君  
代表監査委員----- 黒木 正近君

---

午前9時00分開会

○事務局長（濱砂 雅彦君） 一同、ご起立ください。一同礼。ご着席ください。

○議長（濱砂 征夫君） ただ今の出席議員は8名です。定足数に達していますので、ただ今から平成30年第1回西米良村議会定例会第4日目の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりであります。

---

#### 日程第1. 一般質問

○議長（濱砂 征夫君） 日程第1、一般質問を行います。一般質問は先の通告書により行います。5番、上米良 秀俊君の質問を許します。5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） おはようございます。先に提出いたしました通告書により村長に、村長就任5期目の総括と今後の思いについて質問をいたします。村長は平成26年3月18日告示の村長選に立候補され、当選し、第40代西米良村長に就任されました。

5期目の最重要施策を定住推進対策と定められ、村内の放送設備の整備、住民参加型村づくりファンド事業、片山先生を村職員に採用され、かかりつけ医師の確保、村所、越野尾地区等の簡易水道の整備、手厚い高齢者対策、平成の江戸見物、放課後児童クラブ等の設置、さらには、ジビエ施設と新庁舎の着工等数々の施策を実施され、元気、豊かさ、やさしさがあふれる西米良村となり、県内で一番輝いている自治体とお聞きいたします。このような明るい西米良村にさせていただいたことに嬉しく思うところでございます。

そして、早いもので4年が経過し、昨年の9月議会において今までに積み重ねたものを村の創生につなげ、幸せ度の高い村づくりに取り組みたいと6選をめざし、立候補を表明されました。

つきましては、5期4年を振り返り、村政の総括と今後の思いについて伺います。  
よろしく申し上げます。

○議長（濱砂 征夫君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） ただ今のご質問にお答えいたします。議員仰せの通り、来たる4月4日をもって私、第40代西米良村長の任期満了を迎えようとしたところであります。このことは、また私にとりましては、5期20年の満了ということでもなるわけであります。

省みますと、平成10年でしたが、濱砂五郎村長の急死を受けて、選挙になりました。その後を受けて西米良村長に就任させていただきまして、本当に月日の経つのは早いものだと思います。まさか私が20年もこの村長をしようとは、その当時、夢にも思っておりませんでしたし、いつの間にかもう20年という月日が流れたというふうな気もいたすところであります。歳月は人を待たずと言いますが、本当に早いものだとつくづくそう思います。

その間、多くの村民の皆さん、そして本議会、さらには職員の皆さん等々の温かいご支援やご理解を賜りながら、村長職を務めさせていただきました。決して満足のいくような村政が実行できているかどうかはわかりません。また、まだまだ、私としてはこれで良かったのか、まだやらなきゃならないのかという自戒反省の念も常々持っておるところでございます。

そんな中でございますが、私も5期20年になりますと、西米良村の行政はもとよりであります。西米良村外、県並びに国を含めました、いろんな立場にも参加するようになってまいりました。今就任いたしております役職が100近く、ちょっと超えるぐらいあるというふうに思います。従いまして、本当に多忙を極めることもありますし、行事やら、いろんなスケジュールが錯綜することもたくさんありまして、大変、職員の皆さんやら村民の皆さん、本議会にもご無理をかけることがあるのも事実でございます。温かき、また前向きなご理解をいただき、叱咤激励をいただきながら、今日この村長職を務めさせていただいているところであります。

村長は西米良に一人であります。したがって村長がやらなければならないことというのは、村長しかできないものもあります。村長だからできることもあります。村長

だからこそ発言の機会があったり、その場に出席したり、またいろんな効果を期待できるものもあると思います。そのことをこなすことが、私は村長としての役目であろうというふうに認識をいたしているところであります。

従いまして、これからもこの西米良の具体的な現実的な具現的な政策をもって、元気に明るく、そして幸せ度の高い村をつくるのは当然であります。同じように社会全体からも西米良が認められ、評価されるような基盤づくりというのも同時に図っていかなくちゃならないし、私も5期もさせていただいた以上は、1期目や2期目よりもパイプができた知り合いが増えたり、また、いろんなものごとを読む力も少しは増えていると思いますから、そのような意味では、今後も更に西米良の振興発展、その一筋に、精一杯の努力をしていこうと思っているところであります。

さて、今議員のご質問にありましたが、5期目のいろんな政策を振り返ってみて、またその検証してみようということでもありますから、決して何をしたということをするために言うんじゃないですが、振り返るために羅列させていただきたいと思えます。

5期目は平成26年からでございました。まず26年度にやったことは、西米良は昔はシイタケの村でした。今は宮崎県下でもシイタケはどんびりに近いくらい少なくなりました。部会員は30名いらっしゃいますが、実際にシイタケを生産し販売される方は10名程度であります。小川地区が多うございますが、その他の地区は非常に減ってきた。本当に寂しい限りであります。それは、長い間、シイタケの価格が3,000円そこそこを低迷したからであります。従いまして、この時に50kg以上販売される方につきましては、キロ1,000円の生産補助を出そうということをやったのが、26年でございました。

また、先ほど議員もおっしゃっていただきましたが、5期目の一番大きな政策課題としては、やっぱり人口問題でありますから、そのためには赤ちゃんができることが一番いいのですが、それと同じように効果があるのが、いわゆる移住・定住でありますから、移住・定住の対策室を作らせていただきました。後ほど効果については申し上げます。

また、空き家バンクも同じように登録をさせていただきましたし、また改修事業、空き家を改修する補助金等につきましても、この時に創設をいたしました。また、結

婚補助金を、もう20年間くらい20万円でしたが、50万円に上げました。上げた理由は、西米良で結婚式ができなくなってしまいました。宮崎とかよそに行くと結婚するようになりますと、経費がすごくかかるようになります。従いまして、若い人たちが希望をもって新たな人生の旅立ちをする時に、銭まで足らんということではということで、本議会にお願いして増額をさせていただきました。

また、西米良川床を本格的に始めました。西米良らしい、西米良だからこそできる、西米良の魅力が発信できるものということで、京都にあります川床を参考にさせていただきました。2年間それぞれの観光に携わっている人たちに現場に行ってもらって体験してもらいながら、この制度を作り上げて、これからやったことでございました。

またスカイランニングクエストのプレ大会をこの年にやりました。ここから市房の頂上まで走って往復すると。我々一般人には考えられないようなことですが、このようなことがすごく世の中では受けているということで、状況は皆さんご存知の通りでありますし、また、この村所の町はもちろんでありますが、途中の竹原だとか上米良だとか、そういうところの皆さんが大変ご理解いただき、応援いただいたということで、大好評のうちに今、進んでいるところであります。

平成の江戸見物ツアーパート2を行いました。平成27年でございます。むら創生課をつくりました。西米良の将来を担う、その拠点となる部署をつくるということでむら創生課。その中に、先ほど言いました移住定住も移行いたしました。むら創生課の専門部署をつくりました。それから商工業の振興をしたい。これだけ人口が少ない地域での商業振興というのは非常に厳しいんです。やっぱり、この人口がもし3倍おれば、5倍おればということを考えると、本当に容易に商業は成り立つんでしようが、今のところギリギリの線だということで、皆さん頑張ってくださいしております。

しかし、私たちのこの中心地に栄えがなければ、繁栄がなければ、その村は沈んでしまうわけでありまして。その中心地はやっぱりどうしてもこの村所でありますから、特に村所の地域の商業施設についての補助制度を新しくつくって、活気を取り戻そうというようなことでもやらせていただきました。

また、子どもたちの教育につきましては、今までもそうであります。西米良の子どもたちは大変努力をし、勉強しておりますから、県下でも相当な位置にあるのは事

実であります。しかし、これから少子化時代になって、集中的な授業なり勉強学習の機会が、都会では相当恵まれるようになります。それに負けないためにも、できることをしようということで、東大生を夏に連れて来てやって、その後インターネットといますか、テレビ会議システムで子どもたちの学力向上をしよう。この村には塾がない。塾がないというその負い目を、子どもたちが持っていること自体にもう、西米良であることのマイナスが出るわけでありますから、少なくとも完全なものではありませんけれども、子どもたちの支えに、勉強の機会にさせていただきたいということで行いました。

また、少子化、人口減少が続いてきます。そうしますと、世の中の機能が弱体化するものがたくさんございます。今、宅配業者の皆さんがモノを運んでいらっしゃいますが、これを少ないところには何日に1回とかなりかねない。途中までは行くけど、それから宅配までしないかもしれない。だから、まだ力があるうちにそういうことをしようということで、いわゆるバスと、それからヤマト運輸、バスは宮交ですが、を利用した客貨混載事業を始めましたし、また西米良村もこれから小川に向けて、将来に向けて、品物を確実により早く、より丁寧に届けるためのシステム作りとして、そういうものも今試行しているところでございます。

また、村所地区に定住住宅を造りました。定住のための人たちの住宅。小川にも今までいろいろ造ってまいりましたが、やっぱり住宅があると、若い人たちが入る可能性が非常に高いと思います。今後もそれぞれの地区に住宅を建築するということは十分考えてやっていく必要がある、そのように思っております。

それから、人口ビジョンのまち・ひと・しごと創生総合戦略というのを平成27年には着手をいたしまして、人口ビジョンと総合戦略を確定したということでありまして、私たちのこの総合計画も、まち・ひと・しごと創生本部が出しました人口ビジョンと創生事業とをマッチングしながら進めていくということでございます。

それから28年ですが、28年は買い物新事業を始めました。いわゆる遠いところの一人暮らしの人が味噌や醤油やら砂糖を抱えては帰れないんじゃないかと。もちろんタクシーがあったり、いろんなことを考えてしておるんですが、それでもやっぱり困られるということでやっておるところであります。いくらかのご利用はいただい

ておりますが、まだまだそこまではないのかなあという気もいたしております。利用度についてはこれからだろうと。

だから、物事を進める時は、一気にその時になってポ〜ンとやるというのは非常に難しゅうございますから、制度を作って、熟知して、また鍛錬をして慣れていって、永久的な、恒久的な制度に仕上げていくことが大変必要でありますから、一歩先、二歩先にものごとはやっていくべきだというふうに思っていました。

また、中学校・小学校は今、IT教育、情報化教育をしっかりしようということで、タブレットを小学校1・2年生は2人に1台ですが、後は1人に1台ぐらいタブレットを持たせて、それで副教材として即、解答ができる。また、学校に行かれましたら子どもたちがタブレットを使った授業をしておりますから、ご覧いただければというふうに思いますし、これから先は必ず必要なものの見方・考え方を養うにも、やっぱりこういうものに慣れさせておくことは絶対必要でございます。今後は小学校1・2年生もみんな持たせようという考え方を持っておるところでございます。

それから、28年につきましては熊本地震がありました。もう、ガタッとお客さんが減りました。バッテリーお客さんが減りました。本当に困りました。そこで縷々対策を打ったんですが、その中の一つとして「西米良で名刀と出会う夏2016」を開催いたしました。およそ2,000人ぐらいの方でございましたが、でも、この名刀展をしてから、客の戻りは良かったというふうに思っております。それなりの効果があったんじゃないかな。

これも東京の2つ有名な刀剣屋さんがございます。その中の一つと、宮崎の米良電機の社長さんの大変なるご理解のもとに実現できました。なかなか全国でもできる代物ではないということでしたが、大変素晴らしいものを見ていただいて来ましたし、また菊池の殿様に伝わる刀につましても展示をさせていただいたところがございます。

また、24回の参議員の選挙もございまして、1,718市町村で西米良村が投票率第1位になりました。このことは今までもそうですが、高い投票率はもう私たちのところでは定着しているようではありますが、これにはやっぱり相当な努力があるということ忘れてはならぬというふうに思います。村民の皆様の高い意識と、そして努

力によりまして、日本一の投票率を確保できたということでもございました。大変これも素晴らしいことだと、そのように思います。

なお、その他にも納税の24年連続完納、それから他の納金、いわゆる住宅料から水道料から全部完納というのも西米良の誇るべき素晴らしさだというふうに思います。それから、運転免許証を返納した人へ14万4,000円を支給することも始めました。私たちのところこそ、まさに免許が必要なんです。山の上から一人で歩いてずっと降りて来て村所まで来る。バスが来るところまで来るまでも大変なんです。だから免許が欲しいんです。それでもやっぱり安全のために、一定の年齢になり、またいわゆる機能が弱体化した人が免許証を返納されますから、せめて1年間ぐらいはいろんなご不自由なしに移動できるような施策として、したところでございました。

長い間、西米良村の山には山小屋が放置されたままでした。市房の下の山小屋も入れるようなものじゃありませんでした。一応西米良の顔であります。山の顔でありますから、市房の山小屋も整備をさせていただいたところであります。

子どもたちが、学校が終わってからバスの時間までがずいぶんあります。それぞれに思うがままに時間をつぶしたり、歩いて帰ったりいろんな形がございました。放課後児童クラブというのを立ち上げて、子どもたちがその時間を有効に過ごすようなシステム化をしようということで、児童クラブを立ち上げさせていただきました。子どもたちが宿題をしたり、勉強をしたり、スポーツにいそしんだり、いろんなことで有効な時を過ごしてくれることを大変嬉しく思うところであります。

また、ファンド事業も行いまして、町の中でいろんなことをやれたり、自分たちでいろんな事業を展開したいという方に対する支援事業も、ファンド事業としてやりました。平成29年度ですが、昨年度ですが、大変嬉しいことに片山先生が定着いただきました。3年間ラブコールを送り続けました。密かに密かにお願いをして、いろんな機会を持ちながら先生にご理解をいただいたということでもございます。

それから、ゆず団地にも去年から2名の方が後継者として、農業者として新規就農をしていただきました。若い人たちが、その農業、特にゆずを中心としたところに立ち上がっていただいたところでございます。

また最近、タクシーの関係もあるんですが、タクシーでも対応できないような体

の不自由な方々の外出支援とかいうものが出てまいります。それらを考えた時に、やっぱり福祉事業の中で外出支援事業をやらなきゃいけないということで、社会福祉協議会の中でそのような事業を開始をいたしました。これからまたタクシーとの関係もしっかりと調整をしながら、より良き方策方向を求めていきたい、確立させていきたいと、そのように思っているところであります。

昨年度も衆議院の選挙がありました。今度は90.91%で日本で第2位でした。第1位のところは新潟県の粟島浦村というところで、266名のところであります。今回は2位でございます、あと1人。1人で0.05もありましたから。0.1ですから1人が。うちは1,000人ですから。100にしたら0.1でしょ。あと1人おれば0.5勝ったのです。ぜひこの次はまた1位に返り咲かにかいかと、そのように思っております。

江戸見物パート3を今年しました。この前、反省会をしました。私は初めて東京へ行ったって。良かったって人が数人いらっしゃいました。やっぱり東京から北海道に行かれるとかどこか行かれるということはあっても、羽田から乗り継ぎがあっても、中にこう行かれるというのは、なかなかない方もいらっしゃるんだろうと思ひ、高齢者の皆さんが本当に心を開いて喜んでいただく機会というのは、大変私は素晴らしい機会だというふうに思っております。

今申し上げましたようなことをずっと含めましてですが、昨年度は地方自治法制定70周年という記念すべき年でありました。11月20日に東京でその記念式典が行われ、天皇皇后両陛下のご臨席のもとに、西米良村もこの自治賞の表彰を受けることができました。なお宮崎県では5つの町村が受けたということになりました。

さて、西米良村の広報がちょうど今年は500号になりました。はい、500号を記念する年になりまして、昭和25年1月25日に第1号を発刊しているようですが、そういう年でもありましたし、それからジビエ工場についてはほぼ完成をいたしております。今月の末に竣工落成を行って、いわゆるジビエというのは山にいる動物たちの肉を食するわけでありまして、ジビエ工場のジビエの事業だけではなかなか採算がとりにくい。ですから駆除とジビエとをセットにした形でこの事業を行っていきたい。そして、宮崎はもとよりであります、九州のジビエの拠点となれるよう

な施設にしたい。そのような意味から、ジビエ工場が今できているところであります。

なお、役場の庁舎につきましても、今はもうございませんが改築に向けて取り組んでおりますし、入札も済んでおりますので、来年の今ごろは落成式をやりたい、そのように思っておるところであります。

また子どもたちの教育の中でIT情報化教育につきましては、さらに進めていくということも必要でありますし、先生方を含めて、やっぱりこの情報化に対する、教育に対する取り組みのための研究会を去年から立ち上げました。来年、3年間計画で進めたいと思います。私たちの村で子どもたちに一番必要なことは、一番不利なことは何かというと、時間がかかるということと、やっぱり情報の入手が難しいということとあります。距離と時間を超えるのはやっぱりこの電算でありますから、電算教育をうまく活用し、子どもたちの力をつけてやりたいと、そのように思っております。

縷々申し上げましたが、そのようなことをいたしまして、4年間の比較について少し申し上げたいと思います。人口でございます。平成26年は1,242名おりました。今現在は1,181名です。61名4年間でやっぱり少なくなっております。年平均しますと15人ぐらい減ったということになります。ただ一方で0歳から15歳の子どもたち、子どもたちに対する取り組みについては縷々政策を打っているところとありますが、この子どもたちにつきましては平成26年が146名、平成30年は149名で3名プラスと。それから小・中学校は平成26年の90名が、現在88名ということであまり変わらない。

ましてや高齢化率、高齢化率が4年前は42.35%ですが、現在が42.44%、ほぼ横並び。1人ぐらいしか変わってないですから、ほぼ横並びです。人口は確かに60名減りました。ただ人口は減ったけれども、子どもたちの数が減らないということは、いわゆる若返りを少しはしつつあるということには、なるわけでございます。

その人口対策でございますが、これで問題なのは総人口が足りないということとはもとよりであります。いわゆる人手不足になっているということとあります。これは本当に大きな問題で、今後の大きな問題であります。特に専門職、例えば看護師だとか保健師だとか介護士だとか、そういう専門職の人がすごく足りなくなってまいりました。ただ、じゃあ農林業や土方がおるかということ、それもありません。なかなか新

規にそういう就労してくれる人が少なくなってきたのは事実であります。

従いまして、それらに対策をどうするのかというのが今後の大きな問題だというふうに思っております。人が減る、それから、そういう人が減ることによって、やっぱり生活環境と社会生活を維持するための機能が低下してくるということに、これからはなると思われます。

従いまして、例えば祭りにしてもそうですが、葬式にしてもそうです。今日は地域婦人連絡協議会が来ていただいています、地域婦人連絡協議会の組織をまとめていく、組織を盛り上げていくこと自体も、やっぱりいろいろと人が少なくなると難しくなるわけでありまして、また住宅の管理だとか、水の管理、お墓の管理、そういうところまで、将来が不安になってくるというようなことがあります。共同作業等で地域をきれいにしたり、いろいろやりますが、もう今年からよう出らんという人たちも増えてまいりましたから、人が多い時代と少ない時代のやっぱりやり方を、我々はもう少し考えないかんとつくづくそう思うようになりました。

人が少なくなる、高齢化とバランスが崩れてくると、地域コミュニティーが弱体化します。弱ってきます。みんながしっかりとやっぱりコミュニティーを強くして、お互いに思い合う気持ちを育てるということをしなければならんというふうに思っております。この人口問題は、今後も絶対的課題であります。この問題は全国そうであります。

従いまして、これからも子育て支援をしっかりとしていかないかんと思ひますし、それからIターンとUターンの方々をやっぱり来ていただくということをしなきゃならんと思ひます。今、西米良のトータル人口がそんなに極端に減らない理由を申し上げますと、平成26年からIターンとUターンで来た人を申し上げますと、26年が30名、27年が48名、28年が31名、29年が18名、127名が4年間で来ていただいています。これには学校の先生とか県の人たちの出入りは入っておりません。それ以外でこれだけの人が来ているからこそ、何とか仕事も維持できている、何とか人口やら規模が維持できているというのがございます。

このことは政策としては正しい方向だろうと思ひますから、今後ともしっかりとそこらあたりは進めていくということにしたいと思ひます。

長くなりますから、もうちょっとでやめます。

カリコボーズのこれからどうするのか、ということがありますが、ちょうど選挙前ですから、これします、これしますとは、ここではなかなか申し上げにくいのですが、先ほど申し上げましたことを言いまして、今までやってきた政策は決して私は大きく外れていないと私は思います。したがって今までやってきた政策をしっかりと検証し、そしてさらに充実していくということも必要でありましょうし、それから時代の変遷とともにニーズが出てまいります。

先ほど言いましたように、高齢者の皆さんが減るとどうなるこうなるというのがあります。そういうものは適宜的確に、その時に対応していかないといけないものだというふうに思います。数年前から準備しておくものではありませんので、そういうものをしていく。そういうふうにしたいと思いますので、これからは基本的にはカリコボーズの休暇村づくり、平成の桃源郷づくりそういうものを基本に進めていきたいと

思います。

その中で西米良らしさとか、西米良の魅力、それから西米良の深さを育む村づくりをせないかんだらう。西米良でなければならんということは何なのかということであり、西米良が他と違うのは何なのかということをやっぱり明確にする。良さを残す。伝統歴史にしても、この自然にしても、ものの見方考え方にしても、例えば選挙の日本一にしても、やっぱり西米良人気質の良さをしっかりと育てるとことをしたい。

それから、やっぱり地域が一緒になって生きていかなければなりません。ですから、活気がある、豊かさがある、そして優しい。活気あふれる、そして豊かで優しいコミュニティづくりというのをやっぱりしていかにやいかんそう思います。社会の基本はそうだというふうに思います。

それからやっぱり産業育成では何をするか、というとやっぱりつくらにやいかん。「つくる」は「創造」の「創」、「創る」なんですけど、「つくる」は「作」もあるんですけど、創る、育てる、そして分かち合うということ。みんなでそういうものを目指すということが、私は必要だと思えます。それらと同時に、いま一つ私は今回、この次にはこうしたいなあと思うことの一つは、人材育成をしたいと思えます。特にこの西

米良を背負う若者たちをしっかりと教育をし、若者たちの目をしっかりと開いてあげて、そして自分たちの将来の西米良を、自分たちで作っていくという気概やら、その思いを育てるような地域づくりをするのが、私の役目だとそのように思っております。

また、それらの具体的な施策につきましては、4月末か5月の頭頃に本議会にお願いして、肉付け予算をしたいと思えますから、その時にいろいろとご指導賜ればありがたいと思うことであります。

私も今回6期目に向けて、恥ずかしながらですが手を挙げました。挙げました以上は村民の皆様の負託に十分応えるべく、あらゆる手だてを使い、また自分のつたない力を十分発揮して、西米良村政へ向かって頑張っていくことを申し上げまして、極めて長うなりましたが、答弁といたします。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） お伺いいたしましたことを、熱く丁寧にお答えいただきまして、誠にありがとうございます。西米良しかできないこと、西米良からできること等多くのことは行われており、今後もこのような方向で進めていただく、人材育成等も前向きに進めていただくということで、大変嬉しく思うところでございます。

村長が日ごろから言われております、菊池の精神を重んじ生涯現役をモットーに、子どもからお年寄りまで心身ともに元気な村民参加による村づくり。さらには平成の桃源郷づくり等、話されたように積極的に推し進められております。生れて来て良かった、住んで良かったと幸せ度の高い村づくりを進められており、効果が私自身考えておるところによりますと、現れてきているんじゃないかなと思っております。

私事で恐縮ではございますが、1月末に急に腹痛、それも激痛に襲われ、すぐに村立診療所でお世話になりました。約40分間の時間がすごく長い時間に感じられ、桃源郷のトンネルを左目で見た時に、ああこのトンネルが通っていれば15分で診療所まで着くんだなあというのを感じたところでございます。到着すると、土曜日にもかかわらず塚本先生の診察、昼からは県立宮崎病院の消化器専門の先生の代直医の治療を受けまして、10日間の入院で完治をいたすことができました。その時に地域医療の大切さ、ありがたさを痛感すると同時に、常勤医師と代直医師さらには看護師さんたちのおかげで、それぞれ受け取り方は個人的にさまざまであると思っておりますが、私は

幸せ度の高い村づくりの恩恵を受けられたと感じたところでもありました。

私にそのような幸せを与えていただいた先生たちは、夜勤・当直が一日ごとに繰り返されるということをお聞きいたしました。さらには、看護助手不足により看護師さんが看護師と看護助手士の二役を務められるということもお聞きいたしました。それで大変ご苦労されておるようでした。これらの職場環境を改善され、この方たちも西米良に住んで良かった、仕事をして良かったと思えるような、幸せ度を感じてほしいと思うところでありました。

私の住む小川地区は、村より作小屋村という活動拠点施設を作っていただきました。村民の皆様のご協力により、その施設を活用した結果、小川を訪れる観光客も毎年2万人を超え、雇用の場の確保と定住化も進み、おかげさまで平成17年には70%を超えていた高齢化率も、本年2月末には57%となり、人口も94人と大きな減少には結びついておりません。消防団も1ターンUターンの移住者の入団により、村内で平均年齢が一番若いものとなっております。

一昨日観光バスが3台、昨日が1台とありました。たくさんの方々が小川においでいただいております。以前は1日数回村営バスが通るだけでしたが、観光シーズンになると月15台近くの観光バスが来るようになりました。このことは、カリコボーズの休暇村づくりや平成の桃源郷づくりを進めるため、いろんな施策を押し進められた結果が実を結び始めたものだと思っています。

旅行者に営業に行きますと、作小屋村と温泉以外に観光するところありませんかと聞かれます。今回、上米良地区ジビエ加工施設がオープンすることにより、そこにおいて、ジビエ土産品を販売していただければ、温泉を中心とした「作小屋村～ジビエ加工施設」のコースも考えられます。また村所の中心地を通過いたしますから、町の散策もできますし、楽しみにしているところがございます。交流人口の増加がこのような結果を生み出したものであり、今後も西米良村の定住化と観光客の増加の施策も進められるといいなと考えております。

先ほど若干触れましたが、ジビエ加工所の完成、稼働により獣害が減少し、村内外からジビエ料理を堪能されるために多くの人たちが村内を訪れられると思います。また、加工所を地区の活性化のための拠点施設として、地域が繁栄することも間違いな

いと信じております。

村の高齢化率も先ほど村長が言われましたように、42%と高い現状ではありますが、これ以上増えてもないというようなことでございます。このことは進められています手厚い高齢者福祉対策により、生きがいのある生活ができ、今後を担う児童生徒たちにも東大生による夏季の講座とか、放課後児童クラブの設置等により、多くの施策が行われています。木材も安定的に流通し、森林所有者にも明るさが目立つようになりました。主産業であります林業が元気なりますと、村内も元気になります。

また、村民の拠り所であります新庁舎も先ほどありましたが、来年の今ごろは竣工式をするということでございましたが、村民みんなが竣工を待ち望んでいます。人口1,181人の村には活気が満ちあふれています。

これもひとえに村長が村民とともに歩み、村政にあたられた成果であると思います。5期20年、村政に敬意を表しますとともに、今後も健康に留意され、西米良村のリーダーとして幸せ度の高い村づくりにご尽力を賜りますよう、エールを送らせていただき、質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（濱砂 征夫君） これで一般質問を終わります。

---

## 日程第2. 議案第20号

○議長（濱砂 征夫君） 日程第2、議案第20号平成30年度西米良村一般会計予算を議題とします。

提出者の説明を求めます。

村長。

○村長（黒木 定藏君） ただ今上程いただきました議案第20号、平成30年度西米良村一般会計予算につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

平成29年度の我が国経済を見ますと、アベノミクスの推進によりまして、雇用・所得環境の改善が続き、穏やかに回復をいたしております。海外経済の回復で輸出や生産が持ち直すとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直す等、民需が改善し、経済の好循環が実現しつつあると言えます。

政府は持続的な経済成長の実現に向け、平成29年12月に新しい経済政策パッケ

ージを閣議決定し、その方向性を示すとともに、追加的財政事情に対処するため、2兆7,000億円規模の平成29年度補正予算を成立をさせました。雇用・所得環境の改善と各種政策の効果によりまして、景気は穏やかな回復が続くと見込まれております。

平成30年度においては、今後の経済財政運営にあたって引き続き「経済再生なくして財政健全化なし」を基本として、600兆円経済の実現を目指すとされております。少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、生産性革命と人づくり革命を車の両輪として、東京オリンピックが開催される2020年に向け、取り組むとし、生産性革命を世界に先駆けて実現することを、2020年度までの最重要課題と位置付け、3年間を集中投資期間として、取り組むこととされております。

また、人づくり革命や働き方改革等、長期的な課題ではございますが、同じく2020年までに、これらの制度や慣行に囚われない新しい仕組みづくりに向けた基礎を築く取り組みが行われることとなっているところであります。

一方、地方財政対策につきましては、地方交付税が削減される等、依然として厳しい状況にあり、財源の確保が課題となっております。また政府の経済財政諮問会議では、地方は基金を持ち過ぎているのではないかとの一方向的指摘がございまして、地方財政計画の検討を行う上で議論がなされるものと思われまます。

このため財政運営にあたりましては、今後の財政需要に応じた中長期的な計画のもとに、基金の繰り入れや起債の発行を行い、適正な額の確保に努めることが重要であると存じます。

さて、平成30年度の当初予算でございますが、3月25日に西米良村長選挙が執行されることから、新庁舎建築等の継続事業の他、平成31年度の森林環境譲与税、仮称でございますが、の導入に伴う準備に関する経費等を除き、経常経費を中心とした骨格予算とさせていただきますので、ご了承いただきたいと思います。

それでは予算の内容についてご説明申し上げます。予算総額は25億3,231万円で、前年度に比べ1.7%、4,385万2,000円の減となっております。歳入全体といたしましては村税、使用料、繰入金等の自主財源の総額は11億109万6,000円で、その割合は歳入総額の43.5%となっております。一方、地方譲

与税、地方交付税、国県支出金、村債等、依存財源の総額は14億3,121万4,000円で、歳入総額の56.5%となっております。依然として依存財源に大きく左右される財政構造となっております。

次に主な歳入について申し上げます。村税は個人住民税の増が見込まれますが、償却資産の減額等見込まれることから前年度比1.5%減の1億3,863万9,000円を見込みました。地方交付税は交付税総額の減及び単位費用の減額が見込まれ、対前年度比3.9%減の9億7,368万4,000円といたしております。使用料は、国が平成31年度から実施予定の幼児教育無償化を本村で拡大先行して実施する等から、前年度比17.8%の減、3,638万1,000円といたしております。

国庫支出金でございますが、社会資本整備総合交付金事業のうちに新庁舎建築にかかる交付金2,824万7,000円が増となりましたが、村道にかかる交付金が減額となったため、1億4,781万2,000円となりまして、対前年度比で19.2%の減となっております。

県支出金につきましては、地籍事業調査事業補助金の増及び県知事選挙委託金等の増、1億3,462万円となりまして、対前年度比9.8%の増となりました。繰入金是新庁舎建設事業にかかる繰入増で8億6,090万9,000円となり、対前年度比12.8%の増となっております。村債は林道整備長寿命化修繕事業等により1億2,468万8,000円となり、対前年度比で35.2%の減となっております。

次に歳出について申し上げます。歳出全体といたしましては人件費、扶助費、交際費で構成される義務的経費が7億7,236万1,000円で、歳出総額の30.5%、物件費、維持補修費、補助費、繰出金等で構成される一般行政経費が9億9,172万4,000円で、歳出総額の39.2%、投資的経費につきましては7億4,822万5,000で、歳出総額の29.5%となっております。

主な歳出について申し上げます。総務管理費は新庁舎建設にかかる工事請負費3億9,596万円等により8億5,475万5,000円となりました。選挙費は県知事選挙360万8,000円、県議会議員選挙87万6,000円等により526万7,000円となっております。土木費は長寿命化修繕事業費1億1,150万円等によりまして、2億1,890万2,000円となりました。基金につきましては、

3月補正後の残高が29億7,700万円となる見込みとなっておりますが、今後3月末に交付されます特別交付税が確定した段階で、各種施設整備基金に積立てる予定といたしておるところであります。

以上、概要についてご説明申し上げましたが、詳細につきましてはそれぞれのご質問に応じまして、担当課長をして説明いたさせますので、よろしくご審議の上可決賜りますようお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。

○議長（濱砂 征夫君） 提出者の説明が終わりました。これより質疑を行います。

ここで質疑の方法をお諮りします。質疑は最初に事項別明細書の歳出から、款あるいは一部の項ごとに行い、次に同じく歳入を款ごとに行い、最後に議決に附された各表と、付属の調書を含めた予算案全体にわたって補足または総括しての質疑をすることにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。従って質疑は最初に事項別明細書の歳出から、款あるいは一部の項ごとに行い、次に、同じく歳入を款ごとに行い、最後に予算案全体にわたって補足または総括しての質疑をすることにします。

---

#### 質疑1 款1 議会費

○議長（濱砂 征夫君） 最初に事項別明細書の歳出、款1 議会費について質疑はありますか。

無いようですので、次へ進みます。

---

#### 質疑2 款2 総務費 項1 総務管理費

○議長（濱砂 征夫君） 次に款2、総務費の質疑を項ごとに行います。

まず、項1 総務管理費について質疑はありませんか。

5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 33ページでございますが、担当課長にお伺いいたします。連結財務諸表作成業務委託費が昨年と比較いたしまして214万8,000円ほど増額されておりますけれども、増額の理由と昨年度と一昨年度行いました継続審

査の折に、財務諸表をできあがったら課長会等で説明し、予算編成時の活用や施設の適正な管理運営ができると説明されましたが、今回、予算編成を行う時にどのような活用をされたのか、お伺いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） ただ今の5番議員のご質問にお答えいたします。財務諸表につきましては総務省の指導によりまして、平成23年度から本村は取り込んでおります。この主な目的といたしましては、住民等に対する説明責任の履行と、財政の効率化・適正化に利用しなさいということが大きな目的となっておりまして、説明責任の履行につきましては、ホームページ等への掲載をもって行っているということにしております。財政の効率化適正化につきましては、この資料を基にしまして予算編成、日々の予算執行に、資産形成に活用するというところで利用することにしておりますけれども、まず、この内容が複式簿記となっております、今の行政の簿記とはかなり違いますので、そういったことをまず職員に理解していただくということを第一ということで考えておりまして、課長等につきましては説明会を実施しているところであります。ただ、その理解がどこまで浸透しているかというのは、まだ回数を重ねないことには理解が深まらないのかなというふうなことは思っているところであります。

そういった中で、この内容で予算に反映どこまでできるかということなんですけれども、そういった予算編成の中で問題点といたしまして、行政コストの面なんですけれども、社会保障費というのが年々自然的な増をしてきておりまして、そこがかなり経費の%を占めていると。増加がちょっと問題になるのかなというふうに思っております。

それからこども園の建設、そういったものに伴いまして、必然的に、制度的に職員を増にしなければならないという規制もございまして、人件費が上がるという制度上しょうがない部分というものがあまして、行政コストを押し上げている部分があるのかなというふうに思っております。

この財務諸表を見てみますと、確かに議員が言われたように予算の内容がですね、今西米良村の財政状況がどうなっているというのが、今までの予算書決算書と違いまして、個別的によくわかるような形にはなるということではございますけれども、また

一つ問題になっているのが予算規模が全体的に小さいということでございまして、ちょっと大きな事業に取り組むということで行政コストが大きく動く場合があるということが、それをもとにして予算編成を組むにしても若干問題が出てくるのかなということでは思っているところでございます。

それから、この財務諸表を作成するというモデルがですね、一応総務省から示されておったんですけども、平成29年度からは基準モデルと言いまして、全国に統一されたモデルが採用されております。28年度まではちょっと別のモデルがございまして、国内でもですね、5通りぐらいのモデルをですね、各市町村団体が使っているということで、それで作りますと、他団体との比較というのがなかなか難しい部分がありました。

それともう一つは、固定資産台帳というのが整備されておりましたので、その資産形成にかかる部分の的確な数値というのがまだ把握できてないという状況でございました。29年度におきましては、固定資産台帳は一応できましたので、29年度に現在作成している財務諸表におきましては、その数値を使えるんですけども、最終的な完成形といたしましては、固定資産台帳が取得価格で管理されておりますので、それをまた再評価ということをしなくてはならないということになってきております。

予算の増加につきましては、そういった再評価の部分とか、予算の仕分けをするというような作業がまた入ってきますので、30年度につきましてはその固定資産台帳を使うんですけども、そのデータを加工するという作業がございまして、そういったことに費用がかさんでいるということでございます。

今後職員に対する研修そういったものも増やしまして、理解を深めて予算の編成、それから日々の執行に有効に活用できたらなというふうに思っているところでございます。以上でございます。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 了解いたしました。本当は続けて先ほど質問しなければいけなかったんですけども、あと一つ総務課長にお伺いいたします。34ページ、昨年なかった特定個人情報安全管理措置業務作成委託費284万6,000円の内容

についてお伺いをいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） ただ今の5番議員のご質問にお答えいたします。特定個人情報安全管理措置業務ということでございますけれども、マイナンバーが採用されて、これにつきましては特定の個人情報ということで、この保護については外部からの侵入とかそういったシステムへの侵入とかを含めまして、漏えいが絶対あってはならないということがございます。

そういったことで、私たちもその対策を取ろうと思っているんですけれども、それが広範多岐にわたりまして、専門家の意見を聞かないことにはなかなか1個1個の対応ができないということがございまして、そういったことの洗い出し、それからその対応、ケースごとの対応、そこへんまで委託をさせていただいて、細心の注意を払いながらそういったものを作り上げていこうということで、今回これを上程させていただきました。計上させていただきました。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 了解いたしました。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） それぞれ担当課長の方にお伺いをしたいと思います。5点ほどお聞きします。まず33ページの新聞記事利用料26,000円、額は小さいですけども計上されています。新しいものではないかなと思いますが、どのような利用でこの利用料が発生するのかを伺います。

それから、その下の研修参加負担金、負担金補助及び交付金の中の20万円ですが、これも新しいものではないかなと思いますが、どのような研修の内容なのか、また研修の対象者はどういった方なのかを伺います。

それから34ページ、情報政策費の中の役務費でございます。情報と情報通信料Wi-Fi8万4,000円を計上されてございますが、Wi-Fiにつきましては一般的にはパスワードを入力してインターネットが無料で使えるというものと存じますが、このWi-Fiについては来庁された方、事務の方もすべて使えるのか、もしくは庁舎内の職員方だけなのか、そういったことについて伺います。

それから35ページ、財産管理費の中の報償費、新庁舎竣工式記念品15万円計上されてございます。この記念品はどういった方々に記念品としてお配りするの、またその内容が決まっておれば伺いたいと思います。

それから36ページ、需用費、食糧費が53万円計上されてございます。前年度からすると50万円ほどの増となっておりますが、この50万円の増の理由について伺いをいたします。

それから37ページ、使用料及び賃借料でございます。庁舎竣工式の使用料20万円計上されておりますが、どのような理由で使用料が発生するのか、また支出先について伺いをいたします。

それから最後になりますが、44ページになります。一番上の宮交バス利用友の会補助金154万円、これは昨年度と同額が計上されてございます。このことにつきましては29年12月22日に実施されました定期監査の意見書、今日は監査員がお見えでございますが、意見書の中にもございます。宮交バス利用友の会、貸切バス利用補助料については補助金が現在3分の1に減額になっているということで、利用が厳しいとの村民のご意見があるということでありまして、友の会の収支にも余裕があるようなので、宮交バスの利用促進の上からも補助率2分の1等に見直されてはどうかという監査の意見書がございました。私も同様でございますが、利用の促進から見ればこの補助金についての見直しを考えておられないか、以上について伺います。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） ただ今の2番議員のご質問にお答えいたします。まず33ページの新聞記事利用料の説明でございますが、これにつきましては昨年といいますか、今までむら創生課の方で新聞の記事を見まして、西米良村に関係するものがあつたら、それはコピーを取りまして各課回覧というふうにしておりました。

そういうことについて宮日新聞の方では、これは著作権の問題がありますということで、新聞にも掲載されておったんですけども、そういう問題がありますということで、回覧することが問題ありますということになっております。記事をコピーとかして持っている分にはいいんですけども、それを回すということに著作権の問題があるということでございますので、その利用料ということで、これは宮日新聞だ

けなんですけども、それについては、有料支払いをして回そうと。

なぜ宮日新聞だけにしたかといいますと、宮日新聞がやっぱりいちばん記事が多いと。他の新聞につきましては、まずストックしておきまして、見ていただくというかたちにしておけばいいのかなと思って計上させていただいているところでございます。

それから同じく33ページですが、研修参加負担金の20万円ということですが、これにつきましては全国町村会で農林関係なんですけれども、そういった研修会、全国でも著名な方、それから全国から25名程度の方を、町村の職員の方を対象にそういった研修が行われるということで申し込みをしておりましたら、一応うちの職員1名が内定が来ましたので、その年間の経費、旅費等につきましては向こうから出るんですけれども、その参加費、参加料ということで20万円の参加料が必要でございますので、それにつきましては研修用の負担金でございます。こういった研修を通じまして、また大きな視野をもちながら、職員がいろんな研修を積んでいただきまして、農林業、そういったものの活性化につなげればということで計上させていただいております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） 2番議員のご質問にお答えしたいと思います。まず35ページの竣工式の経費につきましては、式典に來られました業者なり来賓の方々に配る記念品を予定しております。次36ページにつきましてはの食糧費につきましては、その竣工式で使用します、オードブルとかそういった食糧費を予定して50万を計上させていただいております。

あと37ページの使用料につきましては、当日雨等の可能性もございますので、テントのリース、そういった部分で使用料として計上させていただいております。

最後、44ページの宮交バスの利用友の会の補助金につきましては、2月の1日の区長会後に宮交バス利用友の会の臨時総会を開きまして、その中でいろいろ検討させていただいたんですが、そういった理事会の中でも補助金を前のように2分の1に戻したらという意見が多くて、そういった方向に理事会の中では決定いたしましたので、それを先日村長の方に起案いたしまして、補助金の2分の1に変更という決裁をいただいたところなんです。それで30年4月1日から2分の1の補助で交付をするというふ

うにさせていただきたいと、思っております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） 一つ説明が漏れていたように思いますが、34ページの庁舎と情報通信所のWi-Fiというものについて説明いたします。役場全体がセキュリティの強化ということで、以前は自分のパソコンでインターネットを見ておったのですが、それが見られなくなりまして、各課1台でのインターネットの活用ということになっておりまして、なかなかそれについては席を立てるといってもありますので、1台しかないということではちょっと調べものをする、それとかLGWANといいますけれども、そういった中での通信以外の方との通信をするという時に非常に勝手が悪いということがありまして、今の庁舎の1階と2階に、個人の家にあるWi-Fi環境と同じような環境を作りまして、これは個人の持ち物ですけれども、個人のものでも持ち込んでも、通信してデータをとるための通信環境を設定するというので、今現在は新富のところから無償で貸していただいているんですけども、それがやっぱり勝手がいいということでございまして、それにつきましては来年度から正式に入れていただきまして、そういったものに活用したいということで、このWi-Fiの料金を計上させていただきました。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） はい、了解しましたが、Wi-Fiにつきましては職員だけが使えると、一般の住民の方は使えないということでしょうか。

それともう1点、新庁舎の記念品につきましては、式典の方の来賓の方等にお配りするということですが、村内のものを使われると思いますけど、記念品等が現在の時点で検討されておれば教えていただきたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） このWi-Fiにつきましては一応職員向けということで考えております。まだこれは、今回予算に計上しておりませんが、公衆Wi-Fiにつきましては、また別の機会での構築がなされるかと思っております。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） ただ今のご質問ですけれども、今の段階ではまだ特にどう

いった記念品ということは決めておりませんので、今後検討させていただきたいと思  
います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） はい、了解しました。記念品等についてはぜひ西米良の  
発信ということもございますので、十分内容を検討いただいて準備いただきたいとい  
うふうに思います。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 質問じゃありませんで要望ですので、お聞きいただけれ  
ばと思います。実はこの村所驛の庁舎が完成した時点から話しております、下の電柱  
の話ですが、肉付け予算ということで村長が言われましたので、肉付けの方で上がっ  
てくるかもしれませんが、教育総務課長、福祉健康課長ではないと思うんですが、  
あと村民課長、むら創生課、総務課、建設、農林振興課どこかの形で検討されるとい  
うふうに思うんですけれども、ぜひ身障者の駐車スペースに電柱が立っておるとい  
うのは本当に異常でありまして、あれを取ってのけてほしいという話をしたところ、あ  
の電信柱に何か恨みでもあるんですかという人もおったぐらい私も言ったつもりであ  
ります。

ぜひ今回の肉付け予算の中で、それぞれの課長たちの中で案を出していただいて、  
あの電信柱の撤去、移転を要望いたすところであります。これは要望ですので、答弁  
はいりません。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それではお伺いをいたします。37ページになります。  
備品購入費ということで、庁舎関連の備品であると思われませんが、5,000万円程  
度計上がされております。基本的には今現在あるもので使えるもの等については、す  
べて活用いただけるものだと思っておるところであります。今現在この金額を計上  
されている内容等についてお伺いをいたします。

予算としては直接計上がなされているわけではないんですけども、平成28年度に  
公共施設等総合管理計画というものが策定をされておるかと思えます。この結果に基  
づいて、今後公共施設等の管理等が計画されているんだと思うんですけども、今年度

の予算にどのように反映されているのかというものについてお伺いをしたいと思えます。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） 1番議員のご質問にお答えしたいと思います。先ほどの備品購入費につきましては、庁舎関係が約2,300万円、あと議場関係で2,300万円ほどの予算を見込んでおりますが、議員からありました通り使えるものはできるだけ使いまして、予算の削減に努めたいと思っております。

それと、その次の公共施設等の総合計画については、28年度に策定をいたしました。先ほど総務課長の答弁でもありました通り固定資産台帳の整備を進めておりまして、これからその固定資産台帳を基にさらに計画をしていこうと思っておりますが、本年度の予算には特に配慮しておりません。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。備品については庁舎が新しくなるということで、導線の確保ですとかいろいろなものがあって新しいものを買わざるを得ないというものもあるかとは思いますが、見栄の問題ではなくキャビネット等も古いかと思いますが、使えるものはぜひ使っていってほしいと思います。

それから公共施設の総合管理の方はぜひ計画を策定されておりますので、次年度以降になるということではあるんですが、計画的な公共施設の管理、今後老朽化といろいろな修繕なんかも発生することも考えられますので、計画的な計画策定に生かしていただければと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） 今1番議員のご質問の関連ということでお答えさせていただきますが、総合管理計画は作りましたが、自主的にその保守対象となるには個別計画というものを策定しなければなりません。そういったものに取り組みまして、それが出そろった段階で、順位をつけていくというかたちになると思いますが、そういったもので長期的に対応していければと思っております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 総務管理費の中の40ページ、空き家改修事業補助金50

万円の説明と、それから41ページの大学生と集落との交流支援事業補助金、それとその下のふるさと交流会の活動支援補助金、この3点ほど教えてください。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） ただ今のご質問にお答えいたします。まず40ページの空き家改修事業補助金については、移住者がですね、空き家バンクに登録されております空き家を使う時に、改修が必要だということに使える補助金となっております。一応最大上限が2分の1の50万円ということになっておりますので、その一軒分を見込みとして計上しているものがございます。

次に大学生と集落との交流支援事業補助金につきましては、ここ数年村外からの大学生を村内に招いて、地域課題等を学生なりの目線でいろいろと検証・検討いただいている取り組みを実施しております。それにかかる大学生の交流事業の運営経費として補助するものでございます。

最後にふるさと交流会の会支援事業補助金につきましては、例年姉妹都市ではございます熊本県菊池市、そして岩手県遠野市の方と交流事業を推進するために、ふるさと交流会の会の方に補助を行っているものでございますが、来年度遠野市のこれまで遠野ファンタジーということで、2月ぐらいに交流事業を行っていたんですけども、来年度につきましては秋口にあります菊池秋祭り、秋のイベントですね、そちらの方に文化交流というような位置付けで村内神楽の団体を派遣しようというふうに考えています。その分の経費を、多少人数が必要になってくるものですから、追加経費として上げさせていただいております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 関係課長に2点ほど質問いたしますが、まず37ページの委託料。管理施設アスベスト調査委託料40万円上がっておりますが、先日旧庁舎を撤去する時にアスベストがちょっと出てきたという話があります。その他にもどこかアスベストがあるのかどうか、伺いいたします。

続きまして38ページの地域おこし協力隊報酬であります、5名ほど予定されて

いるようでございますが、どこあたりに配属するのかお伺いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） ただ今の4番議員のご質問にお答えしたいと思います。管理施設のアスベストの調査委託費につきましては、ふたば園とですね、すみません、ちょっとお待ちください。ふたば園とですね、基幹集落センターの新庁舎ができた後また改修工事を予定しておりますので、この2件を一応30年度にアスベストがあるかどうかの調査をしたいと考えております。実際にアスベストがあるかどうかは調査をしてみないとわからないところですので、今回40万円という費用を上げさせてもらっております。あと、今後ですね、15の施設、村内にあります公共施設ですけれども、そこはこういったアスベストの調査を今後予定をしていきたいと思っております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） ご質問にお答えいたします。38ページ、地域おこし協力隊の報酬につきましては、現隊員3名、それと新規隊員2名分ということで予算を計上させていただいております。現在の3人の隊員がおりまして、来年度で任期が切れる方1名、それと再来年度まで任期がある方2名という方の予算を計上させていただいております。また新規につきましては、現在、いろんな各振興事業等で地域おこし協力隊の派遣要請というか要望等も出ておりますので、そこらへんを調整して約2名程度予算計上させていただいているところでございます。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 担当課長にお聞きします。32ページの派遣職員引越し手数料、50万円ほど上がっておりますが、この件についての詳細と、ずっと飛びまして、42ページ、需用費の中の印刷製本費7万4,000円。これは免許返納者の方へタクシー利用券を配布している印刷代となりますが、この件につきまして、なかなか1年間で使用できないというお話も聞いています。その中で、この利用券を配布された方の返答というか、その辺のお話がどの辺まで伝わっているのかなというところのお話を聞かせていただきたいと思っております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） 3番議員のご質問にお答えします。32ページの派遣職員引越手数料の50万円についてご説明いたします。これにつきましては、東北の災害の市町村から宮崎県の方に職員派遣の要請がございまして、県それから市町村で対応するということになっておりまして、町村会の方での派遣ということで30年度ですね、西米良村から1名職員を派遣する予定といたしております。その方の引越しに対する費用を計上させていただいております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） 3番議員のご質問に答えたいと思いますが、先ほどの利用者からの1年間使えないという声はこちらに届いているかということで良かったでしょうか。すみません、そういった話は今のところ、こちらには伝わってきておりませんので、それはまた交付した方々に対して、そういった聞き取り調査をして、利用状況についてはまた説明をさせていただきたいと思っております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 他にありませんか。無いようでしたら、ここで少し休憩を入れたいと思います。10時45分まで休憩します。

午前10時26分休憩

---

午前10時45分再開

○議長（濱砂 征夫君） それでは休憩前に引続き会議を開きます。ただ今款2総務費、項1総務管理費について何か発言はありませんか。

1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それでは担当課長にお伺いをいたします。39ページになります。需用費の中に移住相談会用のノベルティ品というものが計上されています。移住相談会に来られた方への広告付きの商品というか、記念品のようなものだと思うんですけども、だいたいどのようなものを想定されているのかということをお聞かせください。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） 今のご質問に答えいたします。ノベルティ品につきましては議員のおっしゃる通りでございますけれども、内容につきましては、これまでの実績では、例えば温泉の入浴剤等をお配りしたりとか、業者が作られたお菓子を配ったりとか、そういうことをしておりますので、今後もそういうかたちで、準備をしていきたいと思っております。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。金額的には非常に1万5,000円と少額ではありますが、ぜひ村内の地場産品等を積極的に活用していただいて、広告に使っていただければと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 他にありませんか。はい、それでは無いようですので、次に移らせていただきます。

---

. . .

質疑3 款2総務費 項2徴税費、項3戸籍住民基本台帳費、  
項4選挙費、項5統計費、項6監査委員費

○議長（濱砂 征夫君） 次に、項2徴税費、項3戸籍住民基本台帳費、項4選挙費、項5統計費、項6監査委員費を一括して質疑を行います。質疑はありませんか。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 担当課長にお伺いいたします。46ページなんですけど、その他の記念品が昨年と比較して7万円増額をされておりますけども、その理由についてお伺いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） ただ今の5番議員のご質問にお答えしたいと思います。その他の記念品につきましては、たばこでの西都地区の組合がございまして、その組合の表彰の記念品、それと一応これは見込みなんですけども、29年度の連続完納の3地区が一応上がっておりますので、その記念品として上げさせていただいております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 了解しました。

---

#### 質疑4 款3民生費

○議長（濱砂 征夫君） それでは次に移らせていただきます。続いて款3民生費について質疑はありませんか。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） はい。56ページ、高齢者福祉費の中の委託料買い物支援事業委託。77万4,000円計上されてございます。これは昨年度当初からしますと、当初が129万6,000円ですから約50万円程度の減額ということになっております。今までの買い物支援事業委託につきましてお話を聞くと、なかなか利用者確保に苦慮されているというお話も聞いておりました。そういうことで、商工会あたりとタイアップしてカタログを作成したいというようなお話も聞いておったところでございますけれども、これは予定としてですね。そういうことを含めてこの買い物支援事業委託の今後の予定、委託内容についてお伺いをいたします。

それともう1点、57ページ後期高齢者医療費の中の負担金補助金及び交付金、機器利用市町村負担金82万4,000円計上されております。負担金が生じた理由、まあ内容ですけれども、全市町村なのか、そういったことも含めて負担金の内容について伺いをいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（梅本 昌成君） はい、ただ今のご質問にお答えいたします。まず買い物支援なんですけれども、ヤマト運輸さんと提携いたしまして実施をしているわけなんですけれども、その前に村内のお店から商工会の方に品物が届きます。その品物の梱包だとか事務の手数料関係として商工会にまず委託。それから配達、それからヤマト運輸さんには配達の時の手数料、見守りも同時にしていただきますので、その分の委託料となっております。予算計上額につきましては29年度の決算額を勘案したものとなっております。

それから、後期高齢者医療費にかかる負担金なんですけれども、ご質問のありました機器利用市町村負担金につきましては、各市町村に後期高齢者広域医療連合から機械が備え付けてあります。その分の機器更改にかかりますそれぞれの機械の保守料を

それぞれの市町村で負担するというものでございます。

それから一般会計分につきましては広域連合の組織運営に関する経費、それから特別会計分につきましては運営に伴う事務的な費用、それから療養給付負担金につきましては、医療にかかわる療用の給付に要する費用をそれぞれの市町村で負担をしておるといことになります。以上でございます。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） はい、了解いたしました。買い物支援事業委託につきましては、非常に他市町村からも注目されておると思いますし、高齢者の方々に優しいサービスだというふうに考えております。さらに使いやすい、利用しやすいサービス内容に、関係機関と協議していただいて体制づくりを充実していただくようお願いをいたします。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 54ページの扶助費なのですが、自動車、これ新規で上がっていると思うんですが、自動車運転免許取得と改造助成事業についての、この事業の中身をお伺いしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（梅本 昌成君） はい、ただ今のご質問にお答えいたします。これは新規ではなくてもともとある事業なんですけども、30年度に要望があがってきておりましたので、今回予算を計上させていただきました。

中身につきましては、障害者の地域生活を支援するものということでございまして、金額の助成につきましては所得により上限額が決まっておるといことでございます。改造の内容につきましては、自動車のハンドルを運転しやすいように改造するということで、要望が来ておりますので今回計上させていただいております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） はい、了解いたしました。これにつきましてはその運転免許取得じゃなくて、車を改造する助成金ということですね。これについては、去年は全然計画が上がっていなかったんですけども、このような制度は本当大変いいと思うんですけども、これに対して村民へ対しての啓蒙というのはなされておるの

でしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（梅本 昌成君） ただ今の質問にお答えいたしますが、福祉健康課それから保健センター、それから社協を合わせて、そういった方々の要望を身近にお聞きして、それからそういったニーズに応えようとしております。今後さらに周知する意味で広報誌等に掲載していきたいと思っております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 児童福祉費の中の需用費、先ほど村長の提案理由の説明の中で、ふたば園の無料化を前倒して行うという説明がありました。このことについて収入が440万4,000円が0になっている、この辺から関連してくるのだろうというふうに思いますが、ふたば園の保育料の無料化は国の制度と村が行う単独じゃないかと思うんですが、その辺の関連性、それとどの辺まで、全くの無料化なのか、おやつ代とかいろいろあると思うんですけど、それも含めて無料化になるのかをお伺いします。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（梅本 昌成君） ただ今のご質問にお答えいたしたいと思っておりますけども、保育料としては歳入の方に予算計上を本来ならすべきであります。今議員がおっしゃいましたように30年度予算書には保育料は計上しておりません。なぜかと申しますと、平成30年度から保育料の無償化を実施をいたしたいと思っております。

一つ目の理由といたしまして、現在の本村の子育て支援の一つであります保育料の減免ですね。これによりまして、保育料の控除の額の方が、歳入として残ります保育料額を大きく上回るということが一つ目の理由です。

それから二つ目に、保育料の全面無償化によりまして、さらに子育て支援を拡充しまして、村民が子どもを産み育てる環境をさらに進化させまして、子育て世代の負担を軽減させるということです。これが二つ目です。

それと三つ目に、国の制度は現在所得に応じまして第2子の半額、第3子以降の無償化、また一人親世帯や住民税非課税世帯については第2子の無償化を実施しております。これをいよいよ国におきましては、平成32年4月からの保育料について、3

歳から5歳児までのすべての費用を無償化にすることを閣議決定しております。

また、0歳から2歳児までの無償化につきましても、今後検討していくということを踏まえまして、本村では国の制度に先駆けまして、保育料の完全無償化を実施したいというふうに考えております。

それから村の単独だということですが、国の補助金、それから県の補助金がございます。以前は、僻地保育所の時には約200万円の歳入しかございませんでしたが、小規模保育に移りまして今1,000万円を超える国県からの補助金が入ってきております。

それから、おやつ代とかをどうするのかということですが、一応保育料のことだけ今無償化で考えております。おやつ代等につきましては、30年度を迎えるまでに検討をさせていただきたいというふうに思っております。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 非常に前向きといえますか、これほど子育てがしやすい村はないというようなことで、もう一つ輪がかかったんじゃないかなと思っております。ぜひ若いお父さんお母さんたちの負担を軽減して、一人でも多くの子どもがこの村に誕生するように心から願っているところであります。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 担当課長にお伺いいたしますが、58ページの児童福祉施設費の報酬、嘱託保育士の報酬、それと59ページの賃金で臨時保育士、これの採用人員計画をお伺いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（梅本 昌成君） ただ今のご質問にお答えいたします。58ページの報酬とそれから59ページの賃金だということですが、報酬それから賃金につきましては、それぞれ報酬が保育士の嘱託、それから賃金については保育補助ということで予算を計上しておりますが、29年度に採用試験を行いまして、30年4月から新たに保育士2人を採用することになりました。その結果、報酬それから賃金ともに減額になっているというふうに思います。一応保育士の数が充足数といえますか、今の子ども数からしますとだいたい充足いたしましたので、今後については、今の体制で保

育を行っていくということになります。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 児童福祉費の中の58ページですけれども、扶助費高等学校支援手当が500万円ほど上がっておりますけれども、これは今現在1人3万円ずつ支給されておられると思うんですが、これは何名分なんですか。

○議長（濱砂 征夫君） 福祉健康課長。

○福祉健康課長（梅本 昌成君） はい、ただ今のご質問にお答えいたします。議員おっしゃるとおり高校生を持つ保護者の負担を軽減するという意味で、高校手当を支給させていただいております。平成30年度につきましては26名の方の予算計上をしているところでございます。ちなみに昨年平成29年度は24名ということでございました。以上でございます。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

---

#### 質疑5 款4衛生費

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、次に移らせてもらいます。

款4衛生費について質疑はありませんか。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 65ページですけども、工事請負費に230万1,000円計上されております。説明によりますと、火葬場周辺工事というふうになっておりますけども、具体的にどのような工事をされるのか伺います。

それと66ページ、飲料水施設費の中の負担金、補助及び交付金350万円計上されてございます。一般家庭飲料水施設整備事業補助ということでありまして、今年はずっと寒くてですね、水道担当課におかれましては、一般住民の方の水道の破裂等の連絡があると実際駆けつけていただいて、修理をしていただいたという話も聞いておりま

すし、本当に大変なご努力ご尽力をいただいていることをお聞きしておりますが、こういった中でその一般家庭の飲料水の設備の補助金があるということでもあります。村所地区を含め村内も水道整備事業が進んでおりますけども、そういった手が届かない所への手当ということで大変いい補助事業だと思いますが、今一度補助の対象の内容をですね、もう一度お聞かせをいただきたいと思います。よろしく願いたします。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） 2番議員のご質問にお答えしたいと思います。これはですね、村の火葬場の施設の前の、玄関の前の河川側ですね、あそこにブロックの積み上げがあるんですが、その地盤沈下がちょっと強くなっておりまして、ここの改修工事を行うものでございます。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 建設課長。

○建設課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけど、66ページの一般家庭の飲料水の補助ですが、個人としてが2件、事業費にして1件が50万円、2件の場合が100万円と、それと共同が、例えば八重地区を一応計画しております。いま議員の方が言われましたけれど、水源施設が老朽化しているとか、ホースが悪いと、そういうふうなことで、補助を使ってやるということで計画しております。ほとんど村内も行きわたりまして、だいたい完了したかなと思っておりますけれど、またそういうふうな調査もやって、なるべく高齢者の方が水道で事故等起こさないように考えたいと考えております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 了解をいたしました。水道につきましては、本当に水源地の水上げというのが台風の後は大変になっております。ぜひ更なる手当ををしていただいて、住みやすい西米良村づくりにご尽力いただきますように、お願いをいたします。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 66ページの繰出金、診療所の繰出金、これが2,500万円ほど29年度としたら増えておりますが、増えた理由を教えてください。

○議長（濱砂 征夫君） 診療所事務長。

○診療所事務長（渡邊 智紀君） ただ今の質問にお答えいたします。66ページの診療所運営費補助金が9,500万円ほど、資金償還分の繰出金が60万円ほど計上しておりますが、診療所の改築にかかる起債の償還がピークを越えてですね、1,400万円ほど減額になっております。診療所の医療機器について更新を進めておりますが、30年度でレントゲン等の更新を進めたいと思っておりますので、これにかかる経費が大きくなっております。償還のピークを越えた繰出金が減った30年度は、これをやるいいタイミングだということで、今回診療所の繰出金はこれを増額していることになっております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

---

#### 質疑6 款6農林水産業費 項1農業費

○議長（濱砂 征夫君） ないようなので次に進みます。款6農林水産業費の質疑を項ごとに行います。

最初に項1農業費について質疑はありますか。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） すみません。先ほどの清掃費の方で聞きもらったことがあったので、戻っていただいてよろしいでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） はい。

○議員（3番 上米良 玲君） 68ページの不法投棄ごみ運搬車両のリース料が上がっておりますが、毎年不法投棄というのは行われているというお話を聞いております。横谷方面の国道沿いにも看板等の警告がされておりますが、看板等を立ててもなかなか効果というのが現れないと思いますが、その他にどのような対策等を考えているのかお聞かせ願いたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） ただ今の3番議員のご質問にお答えしたいと思います。現在は保健所と森林組合、そして村と合同で定期的に村内の山林等の巡回をしております。それによって不法投棄がされているところについては、警察等とまた連携をいた

しまして、元の所有者というかそういう方の割り出し等をやっております。私たち行政も定期的に巡回はしておりますが、ごみ収集の乗務員が巡回した際にそういった箇所があれば、そうした連絡を受けて対策をとっています。以上です。

○議員（3番 上米良 玲君） 了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） それでは農林水産業費の農業費について質疑はありませんか。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 農業費の中の74ページ、山村振興費の中で需用費が600万円ほど上がっています。これに5点ほど書いてありますけど、これの内容についてお知らせください。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） ただ今のご質問にお答えいたします。山村振興費事業費につきましては各観光施設等の修繕料になりますけれども、先に行われました議会におきまして、施設の修繕料の補正等の課題等もあるということでご指摘を受けましたので、内部で検討させていただいた結果、少し増額をさせていただいて予算を上げているというような状況になります。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） この項目の修繕箇所です。例えば、双子キャンプ場がどのあたりを修繕するのか。例えば温泉施設の一般修繕か。その内訳です。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） 現在予定しているところにつきましては、温泉施設の館内にあります身障者用トイレの扉が故障しているところを、確定はしておるところです。それ以外は経常的な総額を増額させて、利用者の皆様にご迷惑のないように対応するというので計上させていただいているものでございます。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 73ページの農地費、農道台帳管理賦課金が上がっておりますが、現在西米良村内に農道がどのくらいあるのかという、またはその延長をお聞かせ願いたいと思います。それと、その下の方になりますが、川の駅関係だと思っておりますが、印刷製本費が43万円組まれております。たぶんパンフレット等の新規の

やつを作成されると思うのですが、どのようなものを考えていらっしゃるのか、担当課長に説明を願いたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 和廣君） まず農道の件でございます。現在村内に農道が11本ほどあるんですが、現在ほとんど何もしておらず、今後も特に要望がない限りはする予定はございません。

それから印刷製本費でございますが、これは川の駅ではなくてジビエフェアのチラシとか、今度施設が完成しますが、その案内チラシ等を考えております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） はい、了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 72ページになります。委託料106万円計上されてございますが、これにつきましてはゆず団地の分筆の測量委託ということでございます。こういったことで委託をされたのか、その理由を伺います。

それと、その下の負担金、補助、及び交付金、その中の農業次世代人材投資資金、これは以前の青年就農給付金のことかなというふうには考えますが、投資資金の内容ですね、就農の内容、対象者等について伺いをいたします。2点お願いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 和廣君） まず委託料でございますが、ゆず園の分筆測量委託でございます。これは現在ゆず団地を整備しまして、お2人が独立といたしますか、新規就農で勤めていただいております。これに対して後の質問にも絡むわけですが、この農業次世代人材投資資金、以前の青年就農給付金でございます。これを交付するにあたって、農地じゃないと適当でないという国の見解が出まして、現在ゆず団地は地目がまだ雑種地のままになっております。それでこれを農地に変えるために地籍調査を行って、地目変更したいというところでございます。

それから農業次世代人材投資資金、こちらは今申しあげました通り青年就農給付金ですが、昨年独立しました濱砂貴志さん、黒木元太さん、それと馬田朋樹さん、この3名分です。

- 議員（2番 白石 幸喜君） はい、了解しました。
- 議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。
- 議員（4番 濱砂 勝義君） 農林振興課長にお伺いいたします。71ページの賃金で、  
 柚園造成事業作業員賃金。去年としますと約倍になっておりますが、誰か1人入れられるのか、なかなか今管理が1人では大変だろうと思っておったわけですが、誰か1人入れられる予定があれば教えてください。
- 議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。
- 農林振興課長（濱砂 和廣君） はい、ゆず団地の作業員賃金でございます。昨年の当初は地域支援員が入るということで、賃金は1名分しか上げていませんでした。実際入ってこなかったんですが、今回は2名分を上げております。ご承知のとおり1人は濱砂充伸君なんですが、もう1人まだ名前を控えさせていただきますけど、もう1人あてのある方がいらっしゃいまして、4月以降勤めてほしいなど願っておるところでございます。以上です。
- 議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。
- 議員（4番 濱砂 勝義君） 先ほども言いましたが、あの広いゆず園を管理するには1人では大変だと思いますので、ぜひ誘っていただいて、入れていただきたいとします。以上です。
- 議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。
- 議員（1番 中武 智和君） それではお伺いいたします。70ページになるんですけども、学校給食地場産品利用推進補助金20万円というのが上がっています。昨年度は学校給食の果汁補助金が6万円と米消費拡大補助金が7万円ということで、この二つが一緒になったのかなという想像もできるんですけども、昨年米に関しては1トンを村内で調達して給食に使うというような内容であったかと思いますが、30年度の補助金の内容についてお伺いをします。
- 議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。
- 農林振興課長（濱砂 和廣君） 学校給地場産品利用促進の補助金でございます。昨年は議員がおっしゃった通り西米良米とあとそれから果汁を提供いたしました。果汁の提供というのは昔のミカン農家を助成支援するための政策ということで、それはずっ

と西米良は残っていたわけなんです、この果汁をやめまして、ジビエとか、伝統野菜、これを学校給食に提供したいということで、今回ちょっと増額して計上させていただきますところございます。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。内容としては米については1トンというのは変わらずということでよろしかったでしょうか、はい、了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 74ページになりますが、ジビエ関連のことでお伺いをいたします。説明では常勤3名、臨時5名、イベント等を行ってジビエの盛り上がり、上米良地区の活性化にという説明があったところでありました。この中で委託料が450万円、それから振興事業補助金625万円計上されてあります。このことについていろいろと管理委託料の積算の根拠等も含めて、ご説明を願いたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 和廣君） まず委託料でございます。こちらはですね、人件費が主でございます。人件費がこのうち120万円ほど、残りが施設の管理料ということになります。それから負担金補助でのジビエ振興事業補助金なんです、これはシカ・イノシシの持ち込みに対して5,000円を払っておりますが、これの分が175万円、それから、その協議会の運営として、こちらが450万円ですか、という内訳でしております。協議会の運営につきましても、だいたいこれもそうですね、人件費が一番多いですね。こういったところ、はい。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） はい、了解しました。持ち込み料が170万円計上されているということですが、もちろん村内で捕獲されたものを持ち込むということになるかと思いますが、いろいろ、議論したり話し合う中で、非常に獲物が減ったということが言われるようになりました。地区外、近隣の町村から運び込むという話も出ておったわけですが、この辺はどのような対応を考えておられるのか伺います。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 和廣君） まず基本は西米良村のシカ・イノシシを使いたいというのが一番でございますが、どうしても量が足りないということで、現在捕獲頭数も減ってきております。そういったことから、現在都農町と連携といたしますか、都農町で獲れた肉を西米良まで運んでもらうという実験をいたしております、それを先週だったですか、運び込んだ肉がどんなものか試食までしたところですが、まあその日に獲れた肉だったら何とか大丈夫のようでありました。

それから、これは今後の展開になるわけですが、都農町はちょっと遠うございますので、できればどうしても不足ということであれば、近いところで椎葉村の大河内、そしてまた西都市東米良、こういったところの猟友会にも声をかけようかなと考えているところでございます。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） はい、了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 農業費の中の77ページの委託料の地籍関係なんですけど、この地籍事業が終わるのは、あと何年ぐらい、今の進捗でいくと、終わる年度を教えてください。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 和廣君） すみません、今資料を持ってきているんですが、終わるのが35年度、順調にいけばですね、35年度の予定なんですけど、進捗率が確か78%ぐらいだったと思います。もうちょっと資料を確認してあとでまた答弁させていただきます。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 先ほどのジビエのことについてお伺いしたいんですけども、おそらくジビエ加工施設がオープンいたしますと、商品も出てくると思います。私はおがわ作小屋村でも年間通じてシカ肉、イノシシは時期的なものなんですけれども、シカ肉は年間通じて使用させてもらっております。なかなか入手も困難なまま、出すのも四苦八苦しているところもあります。狩猟者の方から現金で買った

りとかしているわけなんですけれども、高く買い取っていただけるということであれば、おそらく一極集中なってくると思います。そうした時に村内の飲食業者等には、優先的に処理された肉等は提供していただくということで、そういう方向でしていたければ嬉しいと思うのですが、いかがでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 和廣君） はい。おっしゃることはもちろん当然のことです。まして、優先といますか、現在は肉が少なくていろいろご迷惑をおかけしているようですが、一応協議会の方に確認しましたが、どこにどうということはなく、とにかく肉が入り次第申し込みのあった順番に提供するというので、販売といますか、そういったことをされているようです。ただ村内は安くで提供しているそうです。村外はちょっと高くなるということです。村内を優遇という、そういったことはされているようであります。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） ありがとうございます。ぜひともそのような方向でお願いしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） すみません。ジビエに関連してですが、私も狩りをします中で、捕れたイノシシをその日に捌いて、すぐに冷凍庫に入れるんですけども、ある猟をする方に話を聞きましたところ、熟成をすともっとうまくなるよという話を聞いたことがあります。

高級な牛肉豚肉もある一定の期間、ある一定の温度の中で熟成をさせて消費者に提供している。非常にうまいと言ってもらえますというのをテレビで見るわけですが、おそらく西米良村内の中でシカ肉を熟成する文化はないというふうに思うんですけれども、できたら今度新しいジビエの施設の中で、熟成も含めた検討をされるといいかなと思うんですが、課長はどのようにお考えでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 和廣君） ありがとうございます。今おっしゃったように熟成ということで、穫れてすぐ提供するのではなくて、穫れて一時、冷蔵庫で保管して、そ

ここで熟成させたものをまた冷凍庫に保管するという２段階でやっておりますので、一応熟成の方も考えてさせていただいているところでございます。

○議員（６番 中武 勝文君） はい、了解です。

---

### 質疑 7 款 6 農林水産業費 項 2 林業費 項 3 水産業費

○議長（濱砂 征夫君） 他にありませんか。ないようですので、次に項 2 林業費、項 3 水産業費を一括して質疑を行います。質疑はありますか。

○議長（濱砂 征夫君） 7 番、濱砂 恒光君。

○議員（7 番 濱砂 恒光君） 林業費の中の 80 ページの公有林保育作業委託料が 1, 500 万円ほど上がっています。これは場所と内容を教えてほしいです。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 和廣君） 公有林整備でございますが、すみません、ちょっとお待ちください。失礼しました。まず場所でございます。造林をする場所が村所中之藪、日向折戸。これは今年庁舎用、また江戸見物用で伐採したところでございます。それから下刈りが、大王鶴、砥山谷、横谷。

すみません面積を言い忘れまして。板谷が 0. 7 h a、中之藪が 2 h a、それと下刈りは砥山谷が 1. 7 h a、横谷が 4. 1 h a、大王が 9 h a ほどですね。それから間伐がありまして、竹原の財内というところを 10 丁歩ほど間伐いたします。以上の経費になります。

○議員（7 番 濱砂 恒光君） 了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 5 番、上米良 秀俊君。

○議員（5 番 上米良 秀俊君） はい。83 ページなんですけど、山の道地域づくり交付金 2, 000 万円が計上してありますけれども、現在の開設状況と今後の開設見込みについてお伺いをしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 建設課長。

○建設課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけど、主に小川石打谷のことだと考えております。小川石打谷につきましては、平成 20 年度から県が直接行っているわけですが、全体延長として 5, 450m ということで、その中にトンネルが 1, 126m

入っております。そして、事業費相対で約55億が見込んでありますが、今の進捗状況を申し上げますと、なかなか事業費も伸びて来ていません。

そして実際に切り取りの状況から説明しますと、切りながら法面を保護していくという、保護していくというのがアンカー工事になっております。普通の6ボルトとかいう感じではなくて、アンカーを10mくらい入れて面をとめていくというような事業になっております。

そして、今年の実業で延長があるかというのは、延長は全然出て来ていません。切り取りばかりです。そして法面の保護が主体になっています。それで相対事業費2億とか、そういう事業で動いています。実際には婦人会の方も見られたわけですが、全体で地滑りを起こしています。そして開設延長、残りが394m残っています。事業費として。それでいくと、なかなか進捗が伸びてきていないということで、来年の計画でも90mぐらいしかいけない。延長で。それでも2億ぐらい注ぎ込むということになっております。

そして、施工状況を説明しますと、両サイドからしか1工区と2工区しか施工ができません。そして中から両サイドにいければいいのですが、取り付け道がないということで1工区ずつ。それで法面業者も2カ所から入ってくるという状況で、なかなか工事が進んでいないというのが実状だと思います。

いつできるかというのが、いろいろ話がありますけれど、なかなか当分の間としか私も言えませんけれど、そういうことで、まだ数年というような感じで開設がなかなか難しいということになっております。状況を見ればわかりますけど、なかなか仕事ができないということです。一本あたりのアンカーというのが、100万くらいかかりますので、それで計算すると相当事業費がかさむということで、今の状況を説明しました。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） はい、了解いたしました。私たちもよく現場を見ておりますし、その内容については重々理解もしておりますし、村当局もご苦労されていることも十分わかっております。その上で早く開通してほしいという願いは変わりません。どうぞ今後も早期の開通を目指して、いろいろ予算等をとっていただいて仕事

を進めて欲しいと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 3点ほどお聞きしたいと思います。まず80ページの原材料費、作業路生コン舗装事業が組まれておりますが、今あまり利用されていないような状況と聞いております。実は民家に行くコンクリート舗装はかなりひびが入ったり、道が下がったりして、長くたっている所はかなり悪くなっているようでございます。この民家だけでもいいのですが、これの補助はできないものか、まず1点、聞きたいと思います。

それから負担金補助金、森林組合作業班育成補助金がありますが、これが86万6,000円ほど増えております。それで何名増えて補助金が増えたのかということを知りたいと思います。

それと、もう1点が83ページの上から負担金、補助および交付金であります、ただ補助金200万円と書いてありますが、何の補助金であるかをお尋ねしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 和廣君） ただ今のご質問にお答え致します。まず作業路生コン舗装でございますが、今回要望があったということで計上させていただいております。事業費の3分の2ということで上げておりますが、いま議員さんがおっしゃったように過去に整備されて、現在亀裂とか入って、いろいろ傷んでいるところの対応なんです、これちょっと検討させていただきたいと思うんですが、やはりそういったケースが出て来るのかなと思っております。どの程度時間が経過しているか、年数が経過しているか、そういったものを踏まえた上で検討させていただきたいと思います。

それから、森林組合作業班育成対策補助金ですが、これはFK隊の方の福利厚生費を助成するものでございまして、1人、隊員の方が増えたということで1人分増額をいたしております。

それから補助金の200万ですが、これは干しシイタケ緊急対策事業の補助金で、50kg以上出した方には、1kg1,000円の助成をしているものというものでございます。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 作業路生コンの補助でございますが、ぜひ前向きに検討  
いただいて、宜しくお願ひしたいと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それではお伺いをいたします。80ページの工事請負費  
になりますが、崩壊地等緑化事業があります。これについては工事の箇所についてお  
伺いをいたします。併せて82ページも同じ工事請負費になりますが、林道の単独維  
持工事、県単林道網の整備工事、それから地方創生道路整備事業ということで、  
各1,100万円ずつ程度計上がなされております。これについて箇所と工事内容に  
ついてお伺いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 建設課長。

○建設課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけど、工事費で800万上がっています  
が、ここは荒谷桐山さんところの上流の所に谷がありますけれど、あそこの部分が崩  
壊しているということになっております。そして工事の内容としては、切り取りして  
法面保護していこうということを考えています。そして、実際に濁水協議会というの  
がありますが、九電の方からあっちの方が濁りが出ているという指摘もありますので、  
ここを緑化して濁りを止めるという事業を考えております。これは濁水の補助金とし  
て100%補助金が入ってきますので、それで対応したいと考えています。

次に、この工事請負経費の3,350万円についてご説明したいと思いますけれど、  
県単事業につきましては天包山と椎葉線の補修を行うと考えています。それが  
1,150万ということになっております。それと地方創生事業で上米良大平線の法  
面保護が1,100万、これは法面のモルタル吹き付けなどをすることを考えていま  
す。それから単独の維持管理ですけれど、また上米良大平線とか米良椎葉線の補修事  
業を1,100万程度、それと排水工事を考えています。合わせて3,350万の事業  
を考えています。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 他にありませんか。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 和廣君） 先ほどの答弁の地籍事業の件で訂正をお願いしたいと思えます。最終年度を35年度で見ているということは変わりませんが、進捗率は76.08%という状況でございます。すみません。以上です。

---

### 質疑8 款7商工費

○議長（濱砂 征夫君） それでは款7商工費については質疑はありませんか。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 85ページの賃金で、花咲爺さん作業賃金が上がっておりますが、毎回言わせていただいているんですが、これに従事されている方が高齢になられて、そろそろ終わって欲しいんだがという話を聞くんですが、なかなか桜の下払いとか、ある程度の技術というか、それがなければ、なかなかできない作業が多いのではないかなと思っておりますので、なかなか後継者というか代わりの人がいないのではないかなと思っております。

その点について後継者の方が見つかったのか、見つかっていないのかということの確認と、現在、項目の中で西米良村の観光PR事業で1,400万ほど上がっております。その中ですね、先ほどもWi-Fiの話があったんですが、やはり村外から来られたお客様が写真等を撮ってインスタに載せたりとかされたりしている時に、公衆のWi-Fiがないとなかなかその情報の発信ができないというのを聞いたことがあります。せっかくですから、商店街の方でスマートフォンにアプリを入れて店にあるQRコードをかざすと、その店の情報が流れるということをされておりますので、商店街のPRにもなりますし、各施設にWi-Fiがありますと、そこから個人の方が日本全国、またさらには海外にまで情報を発信していただけますので、ぜひその辺の検討もしていただきたいと思えます。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） ただ今のご質問にお答えさせていただきます。まず花咲爺さん作業員についてですけれども、単刀直入に申しますとまだ後継者は確定いたしておりません。いろいろ適切な方を探してはいるところではあるのですが、見込

んだ方にちょっと声をかけたら、ちょっと難しいというお答えをいただいたり、そういう状況になっております。もし、また議員の皆様にもそういった情報があればお聞かせ頂きたいというふうに考えています。鋭意後継者探しを継続したいと思っております。

また先ほど出ましたW i - F i の件については、今導入について検討している段階でございますので、そういうご提案とかご説明ができる段階になりましたら、説明させていただきますと思っています。

○議員（3番 上米良 玲君） はい、了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 担当課長にお伺いしますが、86ページの商工費ですね。一番上に観光PR名刺印刷製本費ということであるんですけど、これは名刺を積み重ねて製本するのかなあと思ったり、どういうものを作られるのかをお聞きしたかったのですが。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） こちらについては項目名で印刷製本費ということなんですけども、こちらはこれまでありました西米良村内の観光施設等の写真が載った観光名刺の台紙がもうなくなっておりますので、新しく名刺台紙を更新するというのでございますので、本冊子等を作るというようなものではございません。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 了解しました。あの製本というのをちょっと調べましたら、ある一定のノートを積み重ねて本にするということを書いてあったものですか、どういう方法を使われるのかなと思って聞いたところでありました。了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） はい、担当課長にお伺いしますが、86ページ。委託料の中で桜の里づくり委託141万5,000円が計上されております。毎年桜の里づくりということで桜の木を提供されていると思いますが、近年なかなか植えるところも少なくなってきたという話も個人では聞きます。今後この桜の里の苗木の委託をど

のように考えておられるか、また苗について植栽地等公有地も含めて考えておられるのかを伺います。

それともう1点、登山道整備委託119万8,000円が計上されています。29年度は250万ということで看板等の設置を考えた予算作りだと思いますが、30年度は119万8,000円の整備委託だということで、その内容を伺いたいと思います。いよいよ山開きも近づいてきましたし、2016年にはご存じの通り、本村消防団もそうですが、高鍋町それから西都市の消防団も合わせて国見山の遭難の捜索も行っております。そうしたことも含めて登山客も多いこれからのシーズンになりますが、看板の設置状況等も踏まえて伺いたいと思います。2点よろしく申し上げます。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） ただ今の質問にお答えさせていただきたいと思います。まず桜の植栽、桜の里づくり事業につきましては、もともと昭和60年の桜ロード、国道沿いにソメイヨシノ等を植栽したところから始まりまして、村の事業としましては平成14年ぐらいから苗木をつくりまして、植栽活動を進めているところでございます。現在平成29年度の完了段階で、約9,500本、先ほどの桜ロードを引いた、村が進めてきているものとすれば7,500本くらいという計算になるかと思えます。一応桜の里づくりにつきましては、こうした自然環境に合う花のある村づくりということで進めておりますので、当初の目標としましては1万本を目指して植栽ということが続けていきたいというふうに思っております。

また植栽候補地につきましては、議員おっしゃるとおり個人で植えられている方については、もうよろしいですと云うお話も聞いております。また植栽の場所については、先ほどご提案いただきましたように、その他、新しくできる道路とかそういう所を踏まえまして、地域とともに植栽活動を進めていきたいというふうに考えているところでございます。

また、登山道の整備の委託につきましては、こちらも今年度看板の設置を進めておりまして、そちらが減額になった分の通常通りの、山開きのための登山道開設のための登山道整備が約70万円ぐらい、それと秋口に今実施しておりますスカイラインニングクエスト、イベント前に約50万円ということで、足しこみまして120万円ぐら

いの予算となっております。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 了解いたしました。桜につきましては景観等も含めて引き続きご検討いただきたいと存じます。それから看板ですよ、あれは決算でも聞けばよかったとも思いますが、これからがシーズンということもありますので、看板をどのように設置されたのか、分かれば教えてください。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） 大変失礼いたしました。まず市房・石堂山の看板設置については、本年度は老朽化したものの取り替えというものを進めているところでございます。また、これも今までの議会でもご提案いただきましたように、国見山もそういった搜索案件等が出たことから必要位置に看板設置することを今年度実施するというようにしております。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 関連ですが、6月の一般質問だったというふうに思うんですけど、温泉の前の竹山を整備して、桜の上に温泉館が浮かび上がるよというよいう話を村長が答弁の中でされたというふうに記憶しておりますが、できたらあその前の竹を切って、あと2,500本ぐらい目標達成まで、あるようでありますから、双子キャンプ場のリニューアルも考えておると言われますので、どうかあの辺を全部桜にしてもいいんじゃないかというぐらい植えて、向かいの国道からは「わっ、きれいやね」いうのをイメージしながら、そこに集中して桜の木を植えるというのもひとつありじゃないかなというふうに考えておりますが、そのへん課長はどのようにお考えでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） はい、ただ今の質問にお答えしますが、前回の議会でもそういうご提案もありましたので、またリニューアル等もありましたし、そちらの代行等の検討もしていかないといけないと思っております。ぜひ、近隣に村所地区の方が植えられております百花亭、そういったものと連携してですね、花いっぱいエリアということで整備ができればというふうに思っておりますので、検討材料とさ

せていただきたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ声あり〕

○議長（濱砂 征夫君） それではないので、ここで昼食休憩をはさみたいと思います。再開を1時15分でよろしいですか。傍聴の方も午後からお時間があればいらして頂きたいと思います。休憩します。

午前11時56分休憩

---

午後1時15分再開

○議長（濱砂 征夫君） はい、それではよろしいでしょうか。午前中に引き続き会議を開きたいと思います。最初にむら創生課長の方から訂正があるそうです。むら創生課長。

○むら創生課長（牧 幸洋君） 午前中の議会の折に41ページ、諸費の中のふるさと交流の会活動支援補助事業、秋に菊池に神楽を派遣すると申しましたけれど、訂正しまして遠野市への派遣ということになりますのでよろしくお願いたします。

---

#### 質疑9 款8土木費

○議長（濱砂 征夫君） それでは、商工費まではよろしいですね。次の款8土木費について質疑はありますか。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それでは担当課長にお伺いいたします。工事請負費で予算計上がなされていますが、これについて林道費と同じように工事箇所と内容についてお伺いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 建設課長。

○建設課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけれど、2,350万の内訳についてご説明したいと思います。村道鉦山谷古川線の安全施設の維持管理、横野線の舗装補修、それと狭上線の舗装の補修、それと中之薮線の舗装の補修、鉦山谷古川線の排水整備工事、それと小川校線の排水整備工事、それと津賀瀬線のラインの引き換えというこ

とで全体で2, 350万を予定しています。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） 一応確認なんですけれども、鉾山谷古川線排水の工事だったかと思うんですけれど、これは以前農林振興建設常任委員会の方で継続調査の方で見て回ったところということでよろしいでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 建設課長。

○建設課長（上米良 重光君） おっしゃる通りですね。谷口さんの山のところになります。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） 関連といますか、抜けておりました。90ページにも工事請負費がございますので、こちらについてもお願いしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 建設課長。

○建設課長（上米良 重光君） 今のご質問ですけど、上から工事の2, 610万の方から説明したいと思いますけれど、村道村所2号線ということで、温泉に行く道路ですけど、これに落石防護網を張るということを考えております。

それと吉村線の舗装ということで、吉村線からずっと水源施設がありますけれど、その舗装を一応考えております。それと、村道を荒谷線、桐山さん宅の方へ行く昨年度道路改良しましたその続きを考えております。それで総体で1, 710万ということになっています。

それと下鶴線の電源立地の交付金事業ですけど、ロックネット網を張るということで約900万の事業で、総体で2, 610万ということになっております。

それと社会資本整備事業の内訳を説明したいと思っておりますけど、全体で9, 940万ということで事業費は動いていますが、横野古川線の亀谷橋の補修を考えています。それと山中線の内仲橋の補修、小川公営住宅線の松原の槇之下橋の橋梁の補修ということで予算を計上しております。それが3, 100万程度の予算を計上しております。

それと舗装事業ですけど、鉾山谷古川線の舗装の補修。それと一番久保線、竹原の

公民館からずっと上へあがった路線ですけど、この舗装。それと野地線の舗装、縄瀬線の舗装の補修ということで、総体で6, 300万程度の予算を計上しております。それでほしい9, 940万ということで、予算が動いているということでございます。

ちなみに委託料も考えていますけれど1, 210万程度の橋梁の補修の関係の委託料を1, 210万で計上しております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ声あり〕

---

#### 質疑10 款9消防費

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので次に進みます。款9消防費について質疑はありませんか。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） 担当課長にお伺いたします。防災無線の保守委託ということで456万、94ページになりますが、計上がございます。初めに確認なんですが、防災無線等のデジタル化への移行は何年度の予定だったのでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） 1番議員のご質問にお答えしますが、防災無線の計画でよろしかったでしょうか。防災無線のデジタル化につきましては、平成32年度には切り替えが必要ということでありまして、30年度で、これはまだ計画の段階ですが、構想としては30年度で計画やって31年度で施行、32年度に切り替えという構想で進んでいます。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、デジタル化への移行については了解しました。以前からお話をさせていただいているんですけども、非常に防災無線が電波が届かないといいますか、通話といいますか、通信ができない箇所が多うございます。今後デジタ

ル化をされるということで、要は必要最低限の保守というのがどの範囲までかというのがちょっとわからないんですけれども、456万4,000円というのは、果たしてあまり通じないものに対する保守料として、適正価格なのかというのがちょっと引かかる部分があるので、そこについてお伺いしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） 1番議員のご質問でございますけれども、この金額がはたして適正化と言われると、根拠はなかなかないものですが、今の施設を維持していくためには経緯を含めまして、この金額でやっていって今の体制を維持するという事で、この金額を上げさせてもらっています。業者につきましても当初からの業者がずっと補修ということであっていただいております、そういった場面では値上がりというのも最小限でやって来ているというつもりでございますので、この金額で今のところ持たしておいて、次のデジタル化で切り替えというふうに思っているところです。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、当然防災無線でありますので、通信の保守契約を解約して自分たちでしなさいということはまず考えられませんし、当然通信が途切れないように、定期的に整備をしていくとか点検をしていくというのは大変重要なことであると思うのですが、いまおっしゃられた通り特段の根拠もないという話もございましたが、デジタル化が30年度にいろいろな計画を立てられるということでありますので、一旦といいますか、一応通信がどこからどこまで入らないとか、当然横野から越野尾間が入らないとか、越野尾から村所まで飛んでこないとか、そういったものは消防の幹部会等でも上がっておりますので、そういう経緯を踏まえて保守業者とまた一度話し合い等で見直せるかどうかは不透明な部分もありますが、検討を願えればと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） 電波の入りが悪いというのは承知はしているところでございますが、デジタル化に向けてはいろんな業者が提案に来ているところではございます。その中で、電波状況も机上でやっていただいているところではあります、そういった

ものがまず一つあるということ、実際に計画を立てるとなりますと、現地での電波調査も十分やりながら、不感地帯が極力なくなるかたちでの整備を進めていきたいというふうに思っております。保守料については、先ほど適正かどうか分からないというふうには言ったんですが、当初でいけば何年に何回行く、その時の人件費がいくらということで、当然細かい算定基礎がございますので、そういったもので確認しながら保守の契約を進めていきたいと思っております。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。

---

**質疑11 款10教育費 項1教育総務費・項2小学校費・項3中学校費**

○議長（濱砂 征夫君） 他にありませんか。ないようですので次に進みます。款10教育費の質疑を項ごとに行います。まず項1教育総務費、項2小学校費、項3中学校費を一括して質疑を行います。質疑はありませんか。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） 担当課長にお伺いしたいと思います。97ページ、教育総務費の負担金補助及び交付金の中の特色ある学校づくり補助金754,000円、それと村教育研究会補助金1,300,000円計上されてあります。昨年度も研究会の補助金につきましては105万円ほど計上されておりました。昨年につきましてはICTの教育研究会、小中学校で公開事業をされておりましたし、その分の補助金ということで説明を受けましたが、新たにまたこういった額が上がってきているということで、なにがしかの研究発表会か何かされる予定なのかを伺います。

それともう1点ですけど、ページが前後しますが96ページ、役務費の中の外国語指導助手派遣業務手数料ALTの分だと思いますが、昨年度までは委託料ということで項目が計上されていたと思います。今回は手数料ということで計上されています。この組み替えされた理由もお聞きしたいと思います。以上です。よろしく願います。

○議長（濱砂 征夫君） 教育総務課長。

○教育総務課長（濱砂 亨君） ただ今のご質問にお答えしたいと思います。2点ということでよろしいですかね。まずは1点目、村教育研究会補助金の1,300,000

円でございますが、議員のおっしゃいましたとおり昨年度からICTを活用した教育の研究公開ということで29年度やらしていただいています。昨年度もご説明いたしましたが、3年間の計画で進めたいと思っています。30年度につきましても11月15日を今のところ予定していますが、九州一円に呼びかけまして、研究の成果を発表していきたいと思っております。それと併せまして、研究公開、ICT機器を活用する上で先生方の授業の改善、または活用方法の研究というのが非常に重要になってくるわけでございます。そのために平成30年度は大学と連携しまして、ICTを活用した利用の改善を進めるということで、その分の経費も多少見込んで計上させていただいているところでございます。

それから2点目の外国語指導助手派遣業務手数料の方でございます。29年度までは委託料ということで業務委託という形で進めておりました。現在、新学習指導要領に基づきまして、先行して平成30年度から小学校の方でも外国語活動が3年生4年生から始まってまいります。よりALTが授業の中に入れるように、業務委託ではなくて人材派遣という形で手数料を組ませていただいております。これによりまして、業務委託の場合は1週間のALTの行動計画を業務委託先の会社に報告しまして、それに基づいてALTが行動したわけですが、人材派遣ということで、こちらは現場でALTが現場の先生たちの指示によって授業ができるという利点がございまして、より外国語活動の充実に期待できるのではないかと考えます。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 2番、白石 幸喜君。

○議員（2番 白石 幸喜君） はい、了解しました。ALTの手数料については、また踏み込んだ授業の展開ができるということで大いに期待したいと思います。またICT関係については3カ年計画ということで了解しました。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 今、質問があったすぐ下の小学校修学旅行補助金と中学修学旅行補助金、考え方とか効果についてお伺いしたいと思います。これは、できたら教育長にお願いしたいと思います。先月発行されましたカリコボーズですか、あそこに子どもたちが載ってまして、ほとんどの子どもたちが西米良に関心をもっていて、西米良に帰って来たい、小学校の教員の先生方も西米良に帰って来たいとい

うことを書いておりました。非常に心温まるということと、こういう仕事に就いているみんなが、しっかりこの村を盛り上げていかないかんとということも含めて感じたところでありました。

そういう中で、小学校は東京都、中学校は遠野市というところで、村外の社会を見るわけですが、そのカリコボーズの中に、外から村を見て良かったという1行があったというふうに思うんですが、ずっと続いておりますこの修学旅行、他の町村ではおそらくやってないと思うんですが、子どもたちが少ないこそできるということもあろうかと思えますけれども、これから先やはりこういうものを続けていって、村の宝である子どもたちが将来いろんな形で村に貢献をしたり、村に帰って来たいという一つの、考えるための基礎になればいいかなということも含めて、小中学校の修学旅行、大きな事業ではありますが、ずっと続けていただきたいという要望もあるところであります。このようなことについて、教育長はどのようにお考えなのかお伺いをいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 教育長。

○教育長（古川 信夫君） はい。お答えいたします。ご承知の通り小学校は東京方面です。とくに国立博物館にも行きまして、西米良村で発掘されました兜も展示していただいているところであります。中学校は遠野市、そして東京都という二つのエリアを見学することになっております。その目的が、中学校でいきますと、学校で学んだ各地の地形、産業、文化、史跡、風物に触れ、実際に見物するという、いろんな地域の実情を実際に見て、理解していくということでもあります。

それから一番大きなのは、中学校でいきますと交流活動、向こうの中学校と交流をする時間が設定してあります。ここでは限られた人との関係しか結べませんので、隈府小、湯前中、そして遠野の子どもたちと交流することで人間関係構築力という言い方をしているんですけれども、いろんな人と出会った時に、そこで人間関係を結ぶことができる人づくりを進めたいということがあります。

また、先ほど議員がおっしゃったとおり、いろんな地域を見ることを通して西米良を見直す。そこに郷土の良さを改めて再認識いただきながら、郷土愛をはぐくむという取り組みをしているところですけども、違いを理解することによって自分たちの地

域の特色を明らかにしていくということがありまして、自分たちの生まれ育った地域に自信と誇りを持ち、そして社会に巣立っていくということを考えて取り組んでいるところでもあります。

今、議員もお話しいただいた通り、子どもたちが学校に育てられた、もちろん家族に育てられた、そして最後、地域に育てられましたという言葉が来ているんですね、近頃は。そういったいろんな事業を通して子どもたちは育っているんじゃないかと思っております、今後とも内容の充実に努めていながら、交流事業、修学旅行も通しながら交流事業を進めていけたらと考えているところでもあります。

○議長（濱砂 征夫君） 6番、中武 勝文君。

○議員（6番 中武 勝文君） 私も今、教育長のおっしゃったとおりのことを考えておりまして、人口が減っていく村であるからこそ、村の子どもたちにいろんな形で村に貢献してもらい帰って来てもらう。それが私たちの大きな仕事でもあると思いますので、ぜひそういう方向で進めていきたいと思っております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 98ページの施設の修繕料と備品修繕費の内容を聞きたいと思っております。

○議長（濱砂 征夫君） 教育総務課長。

○教育総務課長（濱砂 亨君） ただ今のご質問にお答えいたします。小学校のトイレ入口等のサッシがかなり老朽化しておりまして、併せて体育館の大きなサッシが老朽化しておりまして、こちらを修繕したい。それから特別支援学級の方が保健室を改修して特別支援学級で使っていますが、こちらの内装がだいぶ痛んでおりますので、併せて修繕していきたいと考えております。備品の修繕につきましては、明確にこれというのはありませんが、年度を通じまして発生される備品関係、小学校が持つ管理備品の修繕に充てたいと思っております。

○議長（濱砂 征夫君） 3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 102ページになりますが、教育振興費515万5,000円。これはオンライン双方向授業の事業委託と中学生の夏季講座委託となっておりますが、子どもたちのレベルというか、進捗状況に合わせてグループごとに

分けて授業を行ってもらっていると思うんですが、その中で画面を通じて行う場合に、例えば2つグループがあった時に、1つのグループがそっちのオンラインを使えば、片方のグループは自習みたいな感じになる。その時に、もう一つタブレットなり端末があれば、両方とも同時に授業が進められるのかなと思っています。いろいろな方法があると思うんですが、どのような方法で、差がないというか、よりいい方向にもっていけるかなと、確認をお願いしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 教育長。

○教育長（古川 信夫君） はい、お答えいたします。今のところ学年に応じてネットワークを通じた授業を行っているんですが、ある一定の学年は二つに分けて個人差が大きいところはやっているところでもあります。中学校で移転に伴いましてやっている時に、ちょっとしたトラブルがありまして、おっしゃるような事例がありましたが、それも一回限りで、その後はそれぞれ入る入口が決められておりますので、電波障害が起こったことはありません。

今タブレットの活用法について聞かれましたけれど、タブレットは現在学校の方でドリルの学習を設けてもらいまして、それぞれが自分のタブレットで、自分に応じた教材内容レベルで学習する取り組みはやっているところでもあります。塾では使っていないところではありますが、先ほどWi-Fi環境の問題がありましたが、そういう問題もありますので使っておりません。

ただ、ネットにつながなくてもタブレットに読み込んで、自分がやる問題をですね、外でもできるという体制は組んでいるところでもあります。従いまして、どこでも自分がこの問題をやりたいということが明らかになれば、それをタブレットに落としていろんなところで学習ができるというシステムは作っておりますが、現在のところ外で使っている事例はありません。あくまでも、校内でそれぞれの進度に応じた使い方をしているところでもあります。将来的にはそんなことも、いろんなところで活用が可能な仕組みができておりますので、小中学校と相談しながら進めていけたらと思っているところでもあります。

○議員（3番 上米良 玲君） はい、了解しました。

## 質疑12 款10教育費 項4社会教育費・項5保健体育費

○議長（濱砂 征夫君） 他にありませんか。ないようですので、次に移ります。項4社会教育費、項5保健体育費を一括して質疑を行います。質疑はありませんか。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 教育長にお伺いしますが、105ページの一番下に神楽調査委員謝金とあります。これは西米良神楽、尾八重神楽、中之又神楽の米良三山の神楽の国指定の調査というところでございますが、今回はどういう調査をされるのかをお伺いします。

○議長（濱砂 征夫君） 教育長。

○教育長（古川 信夫君） お答えいたします。米良山の神楽記録作成計画というのを立てておまして、今年度の4月22日に調査委員会というのを実施したところであります。調査員の先生は、県内3人を含む10名で今調査を進めているところであります。

基本方針が、先ほど言いました神楽それぞれが現時点でどのように催行されているのかを、的確かつ詳細に記録し、ここからが重要なんですが、今後の神楽伝承の基本的な資料になるようにすると。検証を重点に置きながらしていく。ですから、その調査を見れば再興できるといいますか、ずっと未来永劫取り組みができるというような原点回帰になるような資料を作っていきたいということで、今進んでいるところであります。

中身につきましては神楽の由来とか、伝承、組織、準備のあり方、注連の設営とか番付、賄い、そんなものもやっております、それから古文書の調査、衣装、楽ですね。そういったものをすべて調査をして、後世にわたってそれを見れば伝承ができることを目的に進めているところであります。今年度あと1回3月の24、25日に調査委員会2回目を行うのですが、その際には、これまで調査した中間の報告を3名の方にやっていただこうと考えているところでございます。

保存会の皆さんにもお声かけをして、お聞きいただくと大変ありがたいと思っております。最終的には31年度まで調査研究を進めまして、国の方に調査資料を提出したい、そんなふうを考えているところであります。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 前に作っていただいた神楽解説書というのがあります。あれもかなり詳しく書いてありまして、よそから夜神楽を見におみえになる人たちがあれを見ながら神楽を見て、自分たちより詳しくなっている人がたくさんいられるようであります。いま教育長がいわれたように、そういう解説ができますと、ますます神楽を見に来られる方が増えるのではないかと思いますので、どうぞ素晴らしい資料ができるように、楽しみしております。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 米良山の無形文化財に指定された時、おそらくメリットデメリットはあろうかと思いますが、メリットはどういうものかお聞きしたいと思います。指定された時に各地区にある神楽保存会を守らなければならないということで相当な保存会への負担もかかってくるんじゃないかと思いますが、そのような負担はどのようにお考えでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 教育長。

○教育長（古川 信夫君） 実はそのマイナス面はあまり考えていないところであります。つまり、文化的な価値が認められると、国指定になればですね。そして、先ほど言いました通り、今後の神楽伝承の基本的な資料にするということでありまして、そのあと国指定が付いてくるということですので、継承に対する意識の高揚といえますか、高まっていくんじゃないかなということを考えています。

実は、ここに九州の神楽シンポジウムというのが2月に行れたところであります。九州の神楽ネットワーク協議会というのが、国指定の団体が集まって組織を今作っているところであります。宮崎でいきますと高千穂、椎葉、銀鏡神楽、そして高原という4つの団体が加わっています。国指定でないと、これに入れられないわけです。

なぜ九州でそういうネットワーク協議会をもっているかということ、世界ユネスコの世界文化遺産を目指している。宮崎県が取り組んでいるところです。これまでもお話ししていますとおり、世界文化遺産になるためには、国指定が基本になる。国指定にならないと登録加盟団体にならないということでもありますので、宮崎県として九州としてそういった一体的な取組をしておりますので、そこに私どもを加えさせていただ

くことによって、文化的な価値が認められまして、継承意識もますます高まります。

そして、こうした団体が交流することによって、いろんな話題の共有ができるんですね。例えば今回のパネルディスカッションのテーマが、九州各県の無形文化遺産の継承と活性化の取組み、他の団体がどんな取組みをしているのか、そういった団体の中で思いを共有することができますし、継承の活性化策、具体策も見出せるんじゃないかと思っていますので、この西米良の神楽も未来へ向かって、そんな取組みができればありがたいなと思っておりますので、ぜひ前向きに取組んで頂きますとともに、保存会の方にも周知徹底をお願いするとありがたいなと思っているところであります。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 了解いたしました。私、率直にお聞きしたかったのは、国の指定をけた時に、各地の保存会がそれを保存するために相当な努力しないといけないと思うんですよ。そうした時に、高齢化を迎えた各地区の保存会が果たして対応できるのかというのを、ちょっとお聞きしたかったのですが、それについて、もう一度お願いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 教育長。

○教育長（古川 信夫君） 保存会の皆様の努力や実態については承知しているところですけれども、先ほど言いましたように、いろいろな団体がどのように組織を維持しながら、継承していつているのかという情報を共有することによって、いろんな課題の解決にも取り組めるんじゃないかなと思っていますところであります。

そういう高齢化が進んでいく中で、どのようにしていけばいいのか、単一の団体でそういう維持がもうできるのかどうか。様々な取組みが県内でも、先日諸塚の取組みがマスコミで流れておりましたけれども、いろんな方を舞手として引き入れながら、取組んでいるという諸塚のことが放映されておりました。いろんな情報の交流ができて、そういった保存会の負担も軽減できる策も見出せる可能性はあるんじゃないかなと思っています。

国指定になったからといって、負担が増すような取組みはしたくないというふうに思っておりますので、ありのままの姿を維持していく。そして、高齢化で継承が難しくなれば、そこをどうしていくのかということ、みんなで考えるような組織ができ

ていけばいいんじゃないかなと考えているところでもあります。失礼いたしました。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） はい、了解いたしました。お互いにこういう神楽の団体が話し合いによって研鑽をしていって、よりよき方向に持っていて、こういう地方に伝わる文化芸能が継承されることを願って、頑張って指定に向けてやってください。よろしくをお願いします。

---

### 質疑13 款11災害復旧費、款12公債費、款13諸支出金、款14予備費

○議長（濱砂 征夫君） 他にございませんか。はい、ないようなので次に移ります。お諮りします、款11災害復旧費、款12公債費、款13諸支出金、款14予備費は一括して質疑を行いたいと思いますがご異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。それでは款11から款14まで一括して質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

---

### 質疑14 歳入 款1村税、款2地方譲与税～款12使用料及び手数料

○議長（濱砂 征夫君） ではないようですので、質疑を終わります。以上で歳出の質疑は終わり、次に事項別明細書の歳入の質疑を行います。お諮りいたします。歳入の款1村税、款2地方譲与税、款3利子割交付金、款4配当割交付金、款5株式等譲渡取得割交付金、款6地方消費税交付金、款7自動車取得税交付金、款8地方特例交付金、款9地方交付税、款11分担金及び負担金、款12使用料及び手数料は一括して質疑を行いたいと思いますがご異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。それでは款1から款12まで一括して質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

---

### 質疑15 款13国庫支出金・款14県支出金

○議長（濱砂 征夫君） ないようなので次に進みます。款13国庫支出金、款14県支出金は一括して質疑を行いたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。それでは款13及び款14を一括して質疑を行います。質疑はありませんか。3番、上米良 玲君。

○議員（3番 上米良 玲君） 金額のことでは若干ございませませんが、18ページの個人番号カード、マイナンバーだと思うんですが、村内の発行率はどれくらいなのでしょう。まだ自分も申請していないんですが、多分なかなか申請されてない方がいらっしやるとは思います、どのような感じでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 村民課長。

○村民課長（田爪 健二君） ただ今の3番議員のご質問にお答えしたいと思います。現在マイナンバーカードの交付が始まりまして、現在申請が153件ございます。すでに交付済みの枚数が117枚、117人の方の交付が済みしております。以上です。

---

### 質疑16 款15財産収入、款16寄附金、款17繰入金、款18繰越金、款19諸収入、款20村債

○議長（濱砂 征夫君） 他にありませんか。ないようなので先に進みます。款15財産収入、款16寄附金、款17繰入金、款18繰越金、款19諸収入、款20村債は一括して質疑を行いたいと思いますが、ご異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。それでは款15から款20まで一括して質疑を行います。質疑はございませんか。7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） 27ページの菌床栽培の現在はどのようなふうになっているのか担当課長に伺いたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 和廣君） 菌床栽培施設でございますが、前回の議会でも答弁させていただきましたけれども、経営の方は非常に好調みたいで、施設使用料土地使用料

とも順調に入れて頂いておりますし、聞くところによるとキクラゲが大変人気があるらしくて、経営状況としていいみたいです。

○議長（濱砂 征夫君） 7番、濱砂 恒光君。

○議員（7番 濱砂 恒光君） いい方向に向かっているものと信じていいわけですね、わかりました。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） 24ページの財産収入を担当課長にお伺いしますが、村有林等の売却収入が、伐採収入で529万4,000円上がってきております。これにつきまして、所在地とか見込み材積とか出てきておればお聞きしたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 和廣君） ただ今のご質問ですが、まず場所は竹原の財内というところであります。面積が十丁歩を間伐するわけなんですけれども、53年生の杉であります。材積が600立米になっております。

○議長（濱砂 征夫君） 5番、上米良 秀俊君。

○議員（5番 上米良 秀俊君） はい、了解しました。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） 会計管理者にお伺いしますが、27ページの上の欄に雑入があります。会計室では雑入では3万6,000円ですが、どういう収入かを教えてください。

○議長（濱砂 征夫君） 会計管理者。

○会計管理者（土持 光浩君） 今の4番議員のご質問にお答えしたいと思います。雑入で3万6,000円計上してございますが、これは村職員の保険料の給与天引きをしておりますが、その事務手数料が入ってまいります。現在4人が給与天引きをしております、月3,000円ほど入ってまいりますので、1年間をかけますと3万6,000円ということで計上させていただきました。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 4番、濱砂 勝義君。

○議員（4番 濱砂 勝義君） わかりました。補助金等が入ってきた場合、いったん農協に入れて、その利子を収入にしておられるというような、それくらい努力しておら

れるような話を聞いたわけですが、それとは別ですね。

○議長（濱砂 征夫君） 会計管理者。

○会計管理者（土持 光浩君） 諸収入の中にはないんですが、いまご質問があったのは、26ページに諸収入の預金利子になるかと思うんですけども、言われましたのは、補助金等が入ってきた場合に利子がつくのではないかとおっしゃったと思うんですが、ご案内の通り西米良村の各会計の通帳を設けておりますけれど、一般会計から特別会計までそれぞれの預金通帳を設けておりますけれど、役場の通帳で管理しているものには預金利息がつきません。

利息がつくために、交付税が2億とか3億入ってきた時点で1カ月の定期を組みます。1カ月1億程度の基金を設けまして、定期にすることで利息を付ける手段があるんですけども、比較的会計の余裕がある時にそうした定期を数本設けまして、1カ月の定期をつくると。ご案内のように今マイナス金利とかいう非常に金利も下がってきておりますけれども、昨年の8月ぐらいから金利も0.025パーセントから0.01%に下がってきております。それでも、1円でも村の収入が上がるようにそういった1カ月の定期を設けることによって、利息を付けているという現状もあるわけです。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） それではお尋ねをいたします。24ページの総務費寄附金になるんですが、昨年当初が30万で今年は50万ということで、20万ほど多く入ってくる見込みとなっています。これは内容としてはふるさと納税の寄附金であると思うんですけども、20万増えるという強気の見込みということでよろしいでしょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） 1番議員のご質問にお答えしますが、強気というわけではございませんが、今年度の実績をもとにして、昨年の実績、今入っているものの実績を加味しまして50万、昨年が50万近く入っておりましたので、そういうことで上げさせていただいているわけでございます。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、了解しました。ふるさと納税についてはいろいろと報道等で、多いとこは多いというお話もございますので、適宜いろんなところにご案内いただいて、増える分には増えた方がいいものであろうと思いますので、引き続き、寄付金集めてという話ではないという気もしますが、ある程度やれることはやっていただきたいと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 他にございませんか。

---

### 質疑17 議決事項及び各付属調書等

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、以上で歳入の質疑を終わります。それでは最後に、議決に附された各表と付属の各調書を含めた予算案全体にわたっての補足または総括しての質疑を行います。質疑のある方は質疑を許します。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） 歳出全般について考え方といいますか、方向性についてお伺いをしたいと思います。これは別に政策的にからむことではありませんので、各課長にそれぞれ該当するところでもいいんですけれども。

まず1点目が、負担金補助及び交付金の中に、各種団体等への負担金というのが計上されております。少ないものは1,000円から、多いものは数十万円まで膨大な数があると思います。もちろん、入ることによるお付き合いというのも当然ありますし、人口割均等割等で向こうから納めてくださいというものもあると思います。

ただいろいろと見渡してみると、これは何のために入っているんだろうな、というものの中にはあるんじゃないかなと思っております。そういったものについて、これまでもずっと当然、負担をし続けてきたわけですが、これからは負担をするべきものなのかどうか見直されることはないのか。要は、交付税等も減ってきたりとか、いろんなものが歳入が厳しくなったりすることも考えられますので、取捨選択というものが一つは必要じゃないかなと思いますので、そのことについてお尋ねします。

それから各種運営委託等がございます。いろんな施設、団体等あるんですけど、これについてもほぼ例年同じ金額で委託ということで計上されていると思うんですけど、当初委託を始めた時からこれまで、長いものは10年を超えているものもある

と思いますけれども、いわゆる社会情勢等を勘案して中身が人件費が半分とかそういう話も多分あると思うんですけれども、要は情勢を勘案して見直しを図るものがあるんじゃないかなという気がします。中には、もう少し委託料があった方がいいものもあれば、もうちょっと減っても大丈夫というものがあるんじゃないかというざっくりとした見方なんですけれども、そうしたことについて各課がもつそれぞれの管理運営委託についての考え方をお伺いいたします。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） 今の質問についてですが、負担金についてであります、西都、児湯郡内であるもの、県全体であるものということでもありますけれども、負担金審議会というものがああります。そこに各団体が負担金の必要があれば、参考書類のような資料を添えた申請を上げます。事務局の方で取りまとめまして、中身を見まして精査しながら、負担金審議会に上げて、来年度どうしましょうかということ諮られます。その中で相当の審議がされまして、県全体の財政状況と加味しまして、全体的に切るということがここ2年ぐらい続いております。5%ぐらいのカットが2年ぐらい続いてきているところです。当然、全体的に厳しいというのがありますので、負担金審議会の中でもそうしたことがかなり審議されます。

それから収支を見まして、繰越金が多いという団体につきましては、単年度でも極端に下げるということも行われておりまして、必要性は十分そこで審議されるのかなと思っております、その中で人口割等がある時には千円ということも出てきますけれども、それは県全体でとか西都児湯で負担しなきゃいけないという結論が出ておりますので、そういった形の負担はさせていただこうかなと思っております。また、今後審議会でもそういったことが十分論議されるんじゃないかなと思っております。負担金については以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） 了解しました。県内の市町村が全部負担しているのであれば、県の負担金審議会を通しているんだと思います。今言われた通り郡内であれば、児湯郡の負担金審議会で行われているんだと思いますが、全部が入っていないもの等も中にはあるのかもしれない。今のご答弁いただきましたとおり適宜見直しをされ

ているとことでもありますので、今後も引き続きしっかり精査された上で負担金を計上していただければと思います。運営委託についてはちょっと幅が広いんですが、どのように答弁をいただきましょうか。

○議長（濱砂 征夫君） 総務課長。

○総務課長（黒木 敏浩君） 補助金は別でよろしかったですか。委託料につきまして、いろんな委託料がございます。システム入れているから当然払うもの、施設管理委託料といったものもありまして、向うから請求のあるものについては単価等を見まして契約していくんですけども、契約に基づいて支払うということになるかと思えます。村の施設管理につきましては、そのひとつひとつの施設の内容であったり規模であったり、そういったものを加味しながら、こちらで設定をさせていただくものもがございます。そんな形で村の施設に対して出すものは、いろんな要素を加味しながら決定していくということで、計上させて頂いているということでご理解いただければと思います。

○議長（濱砂 征夫君） 1番、中武 智和君。

○議員（1番 中武 智和君） はい、いろんなものを加味されて委託費が計上されているということですが、一つは今回ジビエの方が施設の運営委託ということで、新しく計上がなされたところであります。これが最新の村内での委託契約になるかと思うんですけども、この金額を算定する上で、すでにある既存の、キャンプ場の運営委託であったり、百菜屋の運営委託であったりさまざまなものがあるんですけど。比較した時にどっちがどうなんだろうな、という中身がちょっと見えない部分がありますので、そういったところで適宜見直していただければと申し上げたのは、そういったところでありました。

新しい施設で、その金額、そこには人が例えば3人なら3人配置されるという理由もあろうかと思いますが、そういう部分で実勢を加味していただいて適宜見直していただければと思います。以上です。

○議長（濱砂 征夫君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） ないようですので、以上で本案の質疑をすべて終わります。討

論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。これから議案第20号を採決します。お諮りします。本番は原案の通り決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 征夫君） 異議なしと認めます。したがって議案第20号 平成30年度西米良村一般会計予算は原案の通り可決されました。

以上で本日の日程は全部終了しました。

次の会議は 3月8日午後に開きます。議事は平成30年度特別会計簡易水道事業予算等を予定していますので、ご参集をお願いします。

本日はこれで散会します。ご苦労さまでした。

○事務局長（濱砂 雅彦君） 一同、ご起立ください。一同礼。お疲れさまでした。

午後3時32分散開

---